

第3章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

第3章 目次

頁

第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	91
0. 基礎集計	97
性別	97
前期・後期高齢者	97
年齢	97
圏域	98
介護認定の有無（介護度）	98
調査票を記入されるのはどなたですか。	98
1. ご自身やご家族	99
問1 家族構成をお教えてください。	99
問2 現在のあなたの就労状態はどれですか。	99
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	100
2. 住まい	101
問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。	101
問5 現在のお住まいに関して、不便を感じていること、不安を感じていることは ありますか。	101
3. 日常生活	102
問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	102
問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	102
問8 15分位続けて歩いていますか。	102
問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。	103
転倒リスク	103
問10 転倒に対する不安は大きいですか。	103
運動器の機能低下	104
問11 週に1回以上は外出していますか。	104
問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	105
閉じこもり傾向	105
問13 BMI	105
問14 あなたは、現在の生活で不安を感じていることはありますか。	106
問15 物忘れが多いと感じますか。	106
認知機能の低下リスク	107
問16 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。	107
問17 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	108
問18 自分で食事の用意をしていますか。	108
問19 自分で請求書の支払いをしていますか。	108
問20 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	109
IADLの低下	109

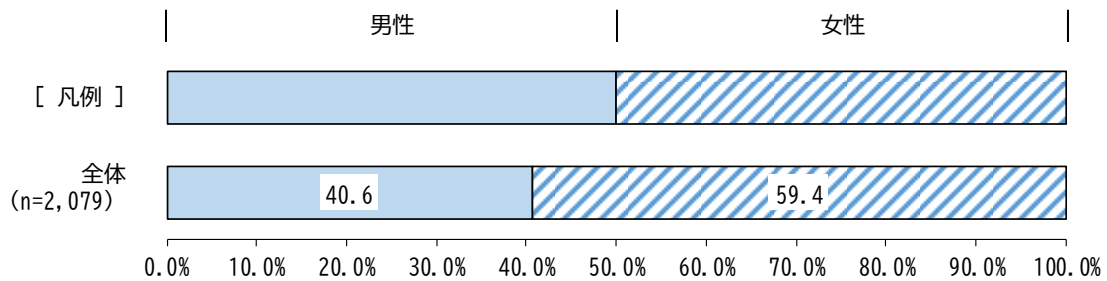
問 21	現在、携帯電話やスマートフォン（もしくはタブレット）を持っていますか。	110
問 22	現在、孤独・孤立感を感じることはありますか。	110
4.	介護等の状況	111
問 23	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	111
問 24	あなたは、介護が必要になった場合、地域で暮らし続けるためにどのようなことが必要だと考えますか。	111
問 25	あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。	112
問 25-1	在宅生活を実現できると思いますか。	112
問 25-2	入所したい施設をお答えください。	112
問 26	あなたは、終末期をどこで迎えたいと思いますか。	113
問 27	あなたは、ご家族、又は身近な方の介護をしていますか。	113
問 27-1	問 27 で、現在あなたが介護している人を含めて、複数の人の介護や子育て等 をしていますか。	114
問 27-1-1	介護や子育てしている人の数をお答えください。	114
	他の介護・子育ての人数 親	115
	他の介護・子育ての人数 子	115
	他の介護・子育ての人数 その他	115
問 28	あなたは、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）をご存知 ですか。	116
5.	地域活動	117
問 29	会・グループ活動への参加状況	117
問 30	グループ活動への参加意向（参加者として）	118
問 31	グループ活動への参加意向（世話役として）	118
6.	たすけあい	119
問 32	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	119
問 33	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	119
問 34	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	120
問 35	看病や世話をしてあげる人	120
7.	健康・介護予防	121
問 36	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	121
問 37	あなたは、現在どの程度幸せですか。	121
問 38	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあり ましたか。	122
問 39	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から 楽しめない感じがよくありましたか。	122
	うつ傾向	122
問 40	タバコは吸っていますか。	123
問 41	あなたは、フレイルという言葉を知っていますか。	123
問 42	食事・栄養、口の健康について、あなたがあてはまることはありますか。	123

問 43 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。.....	124
低栄養状態.....	124
口腔機能の低下.....	125
問 44 どなたかと食事をともにする機会がありますか。.....	125
問 45 聴覚について、不安に感じることはありますか。.....	126
問 46 視覚について、不安に感じることはありますか。.....	126
問 47 あなたは、健康の維持・増進や介護予防のため、現在取り組んでいることが ありますか。.....	126
問 47-1 取り組んでいない主な理由は何ですか。.....	127
問 48 あなたは、健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたいことが ありますか。.....	127
8. 医療.....	128
問 49 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。.....	128
問 50 あなたには、かかりつけ医・歯科医・薬局がいますか。.....	129
問 51 あなたが、過去1年間に病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等での訪問に よる治療（往診）を受けた科目は何ですか。.....	129
問 52 あなたは在宅医療をどのようにして知りましたか。.....	130
9. 認知症.....	131
問 53 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。.....	131
問 53-1 あなたは、認知症についてどのようなイメージをお持ちですか。.....	131
問 54 あなたは、認知症についてどのようなことをご存知ですか。.....	132
問 55 認知症に関する相談窓口を知っていますか。.....	132
問 56 あなたは、認知症に関する相談をする場合、どちらへ相談すると思えますか。	133
問 57 認知症について知りたいと思ったとき、どのような方法で情報を収集しま すか。.....	133
問 58 認知症の本人や家族への支援として必要と感じるものは何ですか。.....	134
10. 区の高齢者施策.....	135
問 59 あなたが安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために、区に力を入れて ほしい高齢者施策はどんなことですか。.....	135

0. 基礎集計

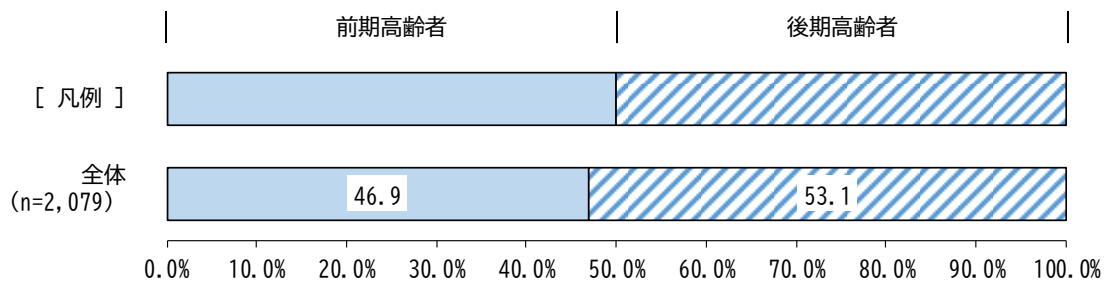
性別

○ 「男性」が40.6%、「女性」が59.4%となっています。



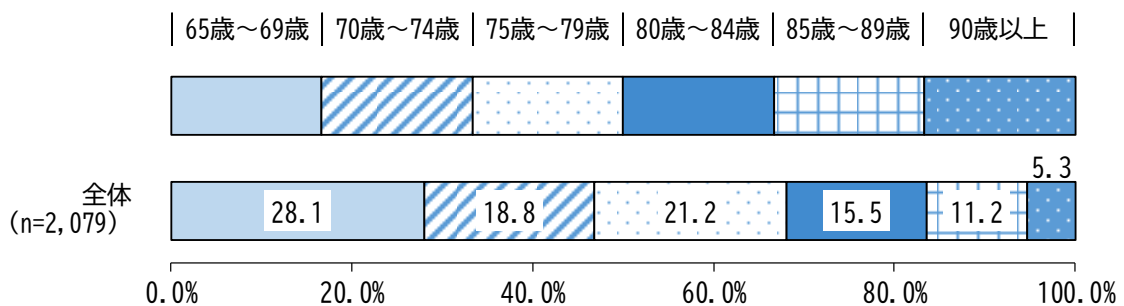
前期・後期高齢者

○ 「前期高齢者」が46.9%、「後期高齢者」が53.1%となっています。



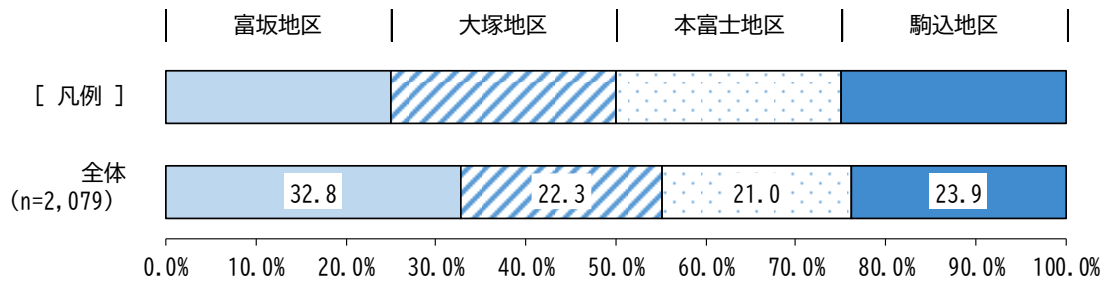
年齢

○ 「65歳～69歳」が28.1%で最も多く、次いで「75歳～79歳」が21.2%、「70歳～74歳」が18.8%となっています。



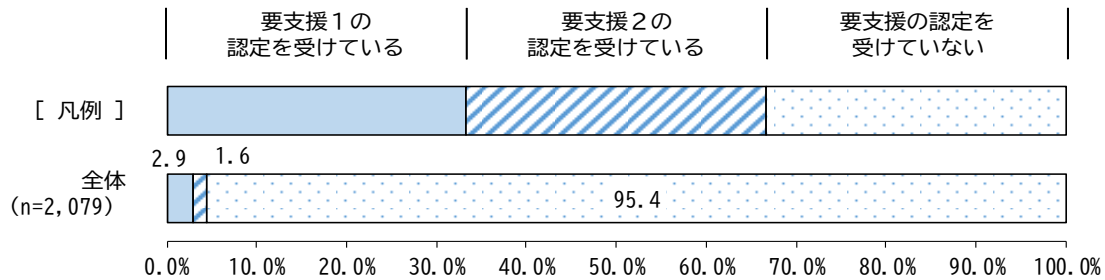
圏域

○ 「富坂地区」が32.8%で最も多く、次いで「駒込地区」が23.9%、「大塚地区」が22.3%となっています。



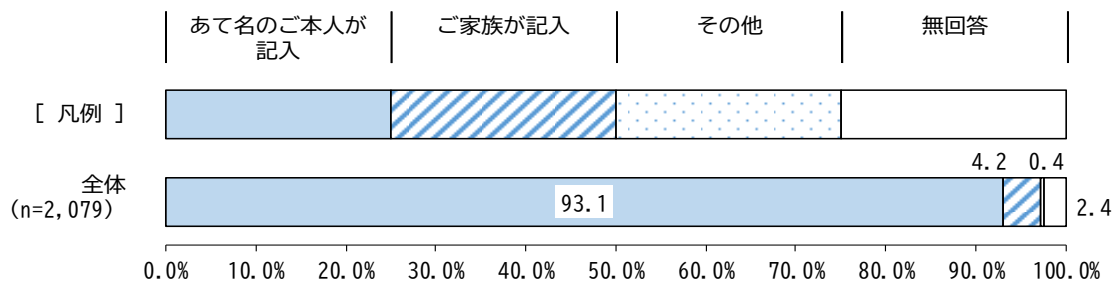
介護認定の有無（介護度）

○ 「要支援の認定を受けていない」が95.4%で最も多く、次いで「要支援1」が2.9%、「要支援2」が1.6%となっています。



調査票を記入されるのはどなたですか。

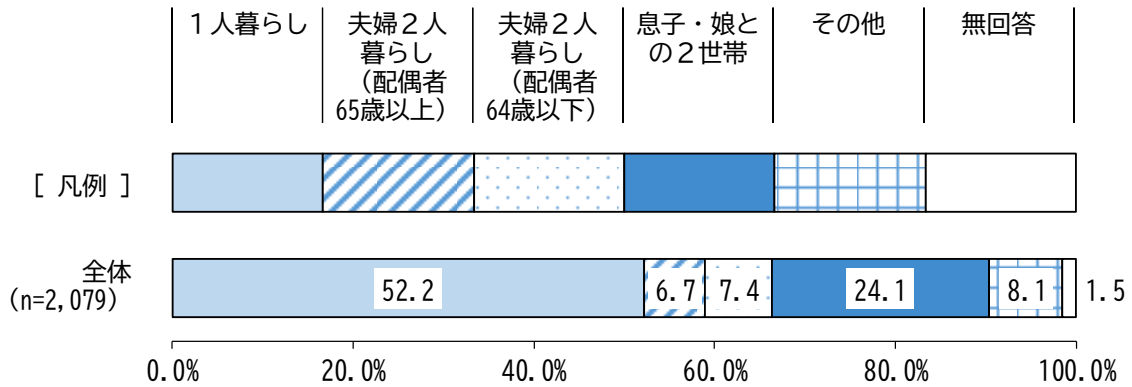
○ 「あて名のご本人が記入」が93.1%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が4.2%、「その他」が0.4%となっています。



1. ご自身やご家族

問1 家族構成をお教えてください。

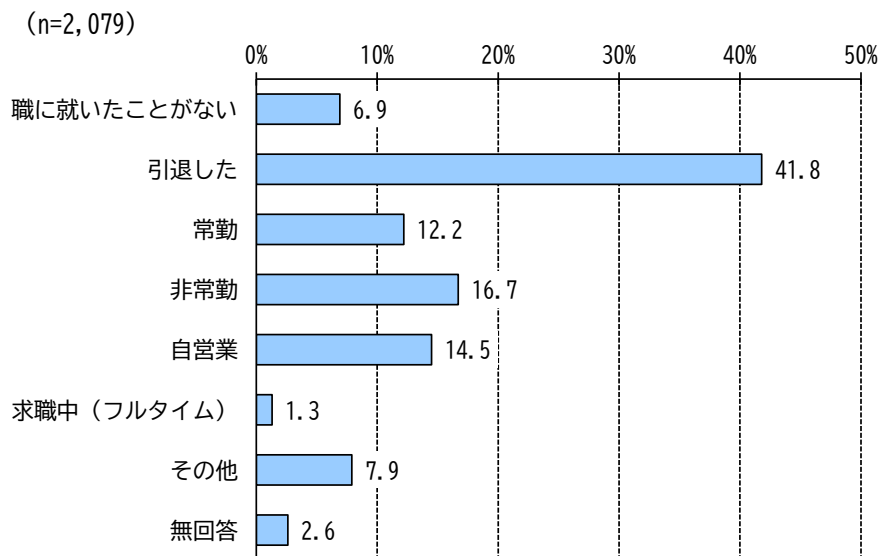
○ 「1人暮らし」が52.2%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が24.1%、「その他」が8.1%となっています。



問2 現在のあなたの就労状態はどれですか

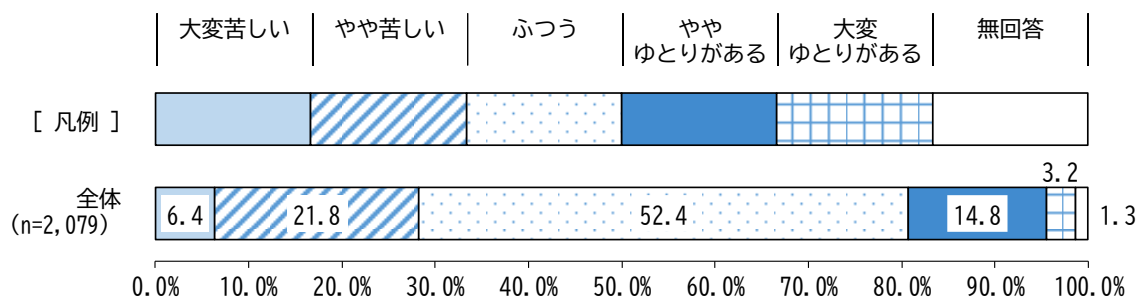
○ 「引退した」が41.8%で最も多く、次いで「非常勤」が16.7%、「自営業」が14.5%となっています。

<複数回答>



問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

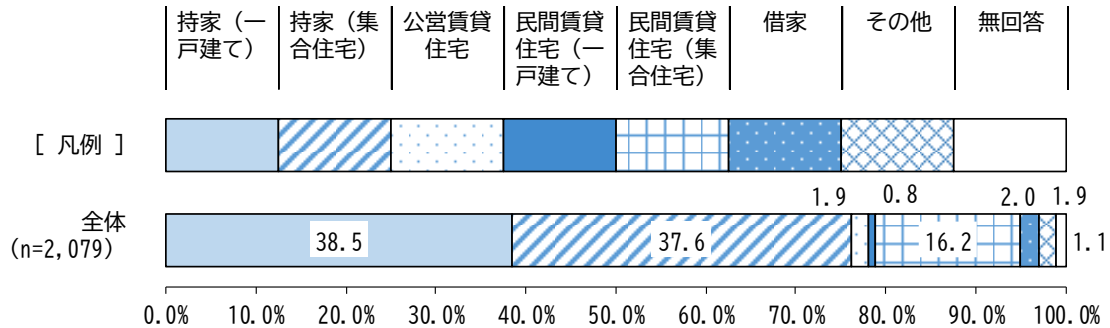
○ 「ふつう」が 52.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 21.8%、「ややゆとりがある」が 14.8%となっています。



2. 住まい

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

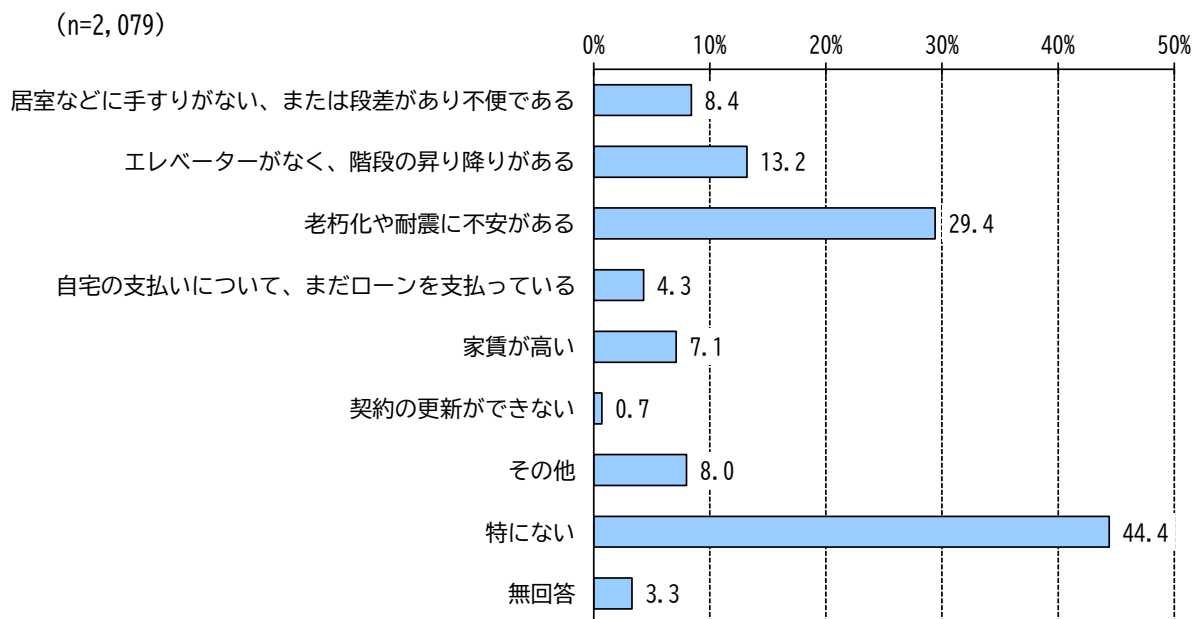
○ 「持家（一戸建て）」が38.5%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が37.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が16.2%となっています。



問5 現在のお住まいに関して、不便を感じていること、不安を感じていることはありますか。

○ 「特にない」が44.4%で最も多く、次いで「老朽化や耐震に不安がある」が29.4%、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が13.2%となっています。

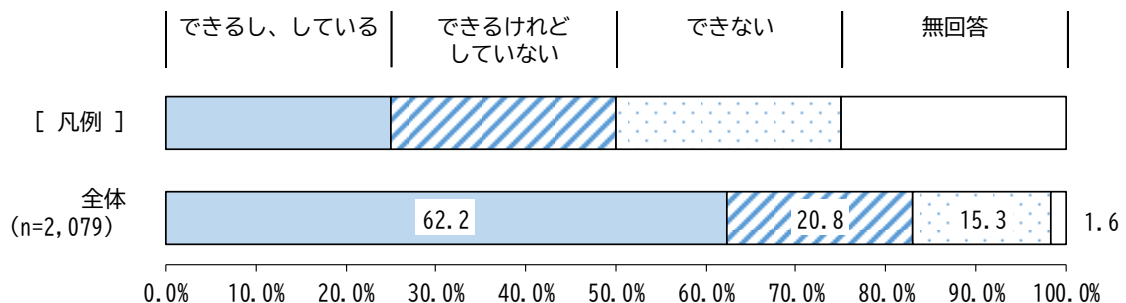
<複数回答>



3. 日常生活

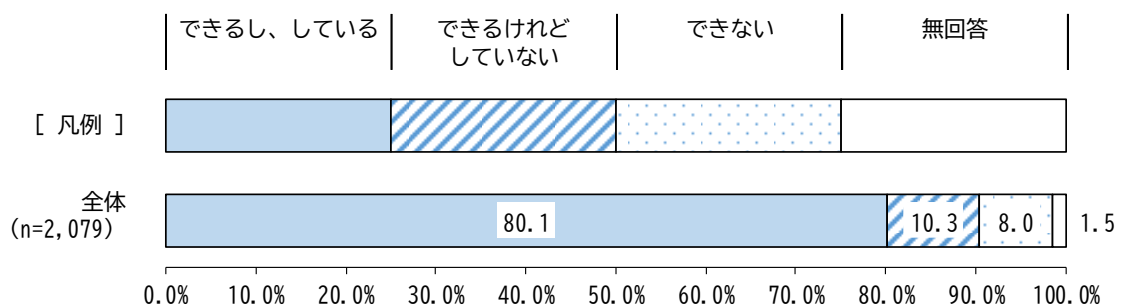
問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

○ 「できるし、している」が 62.2%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が 20.8%、「できない」が 15.3%となっています。



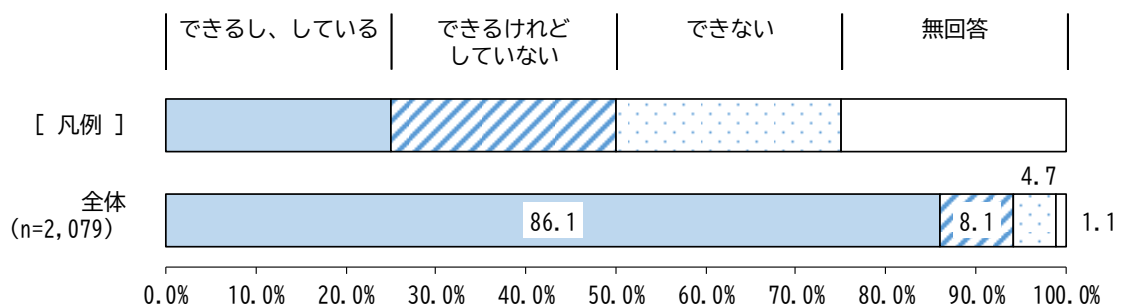
問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

○ 「できるし、している」が 80.1%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が 10.3%、「できない」が 8.0%となっています。



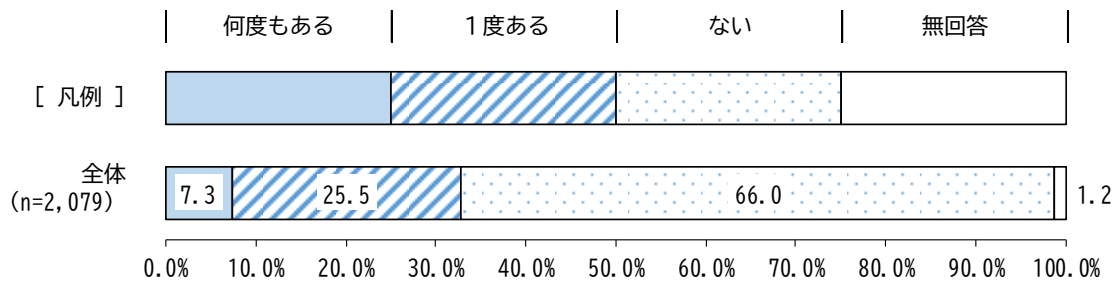
問8 15分位続けて歩いていますか。

○ 「できるし、している」が 86.1%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が 8.1%、「できない」が 4.7%となっています。



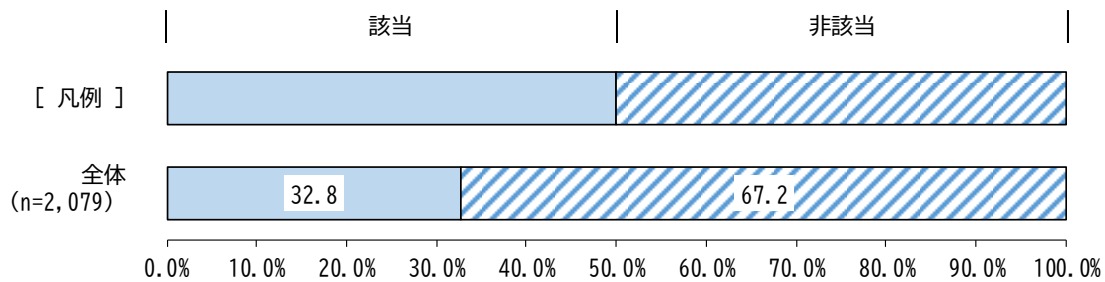
問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。

○ 「ない」が66.0%で最も多く、次いで「1度ある」が25.5%、「何度もある」が7.3%となっています。



転倒リスク

○ 「該当」が32.8%、「非該当」が67.2%となっています。



◆転倒リスクとは

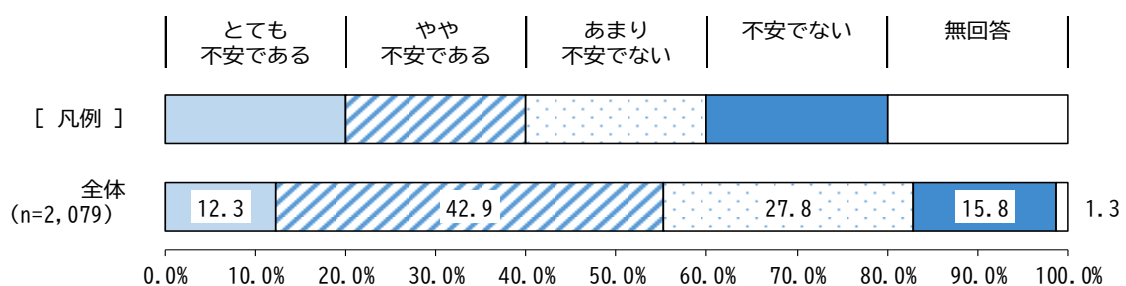
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「転倒リスクあり」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問に該当した場合、「転倒リスクあり」に該当します。

- ・問9 過去1年間に転んだことがあるか → 「何度もある」または「1度ある」

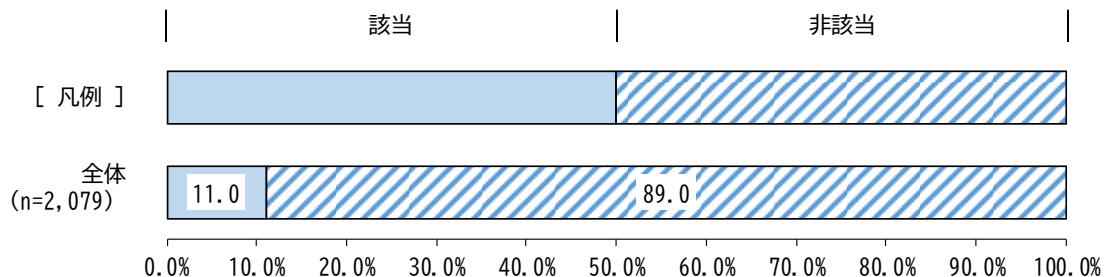
問10 転倒に対する不安は大きいですか。

○ 「やや不安である」が42.9%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が27.8%、「不安でない」が15.8%となっています。



運動器の機能低下

○ 「該当」が11.0%、「非該当」が89.0%となっています。



◆運動器の機能低下とは

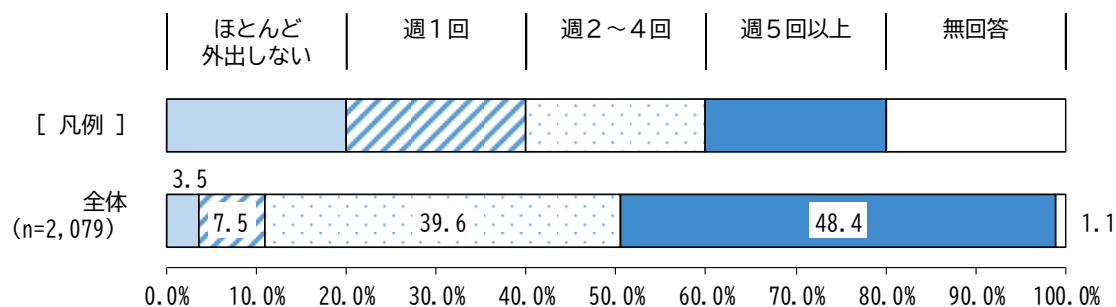
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「運動器の機能低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の5問中、3問以上に該当した場合、「運動器の機能低下」に該当します。

- ・問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか → 「できない」
- ・問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか → 「できない」
- ・問8 15分位続けて歩いていますか → 「できない」
- ・問9 過去1年間に転んだ経験があるか → 「何度もある」または「1度ある」
- ・問10 転倒に対する不安 → 「とても不安である」または「やや不安である」

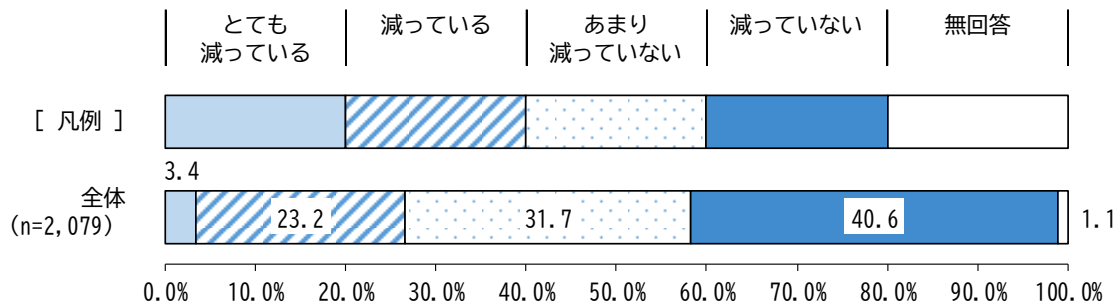
問11 週に1回以上は外出していますか。

○ 「週5回以上」が48.4%で最も多く、次いで「週2～4回」が39.6%、「週1回」が7.5%となっています。



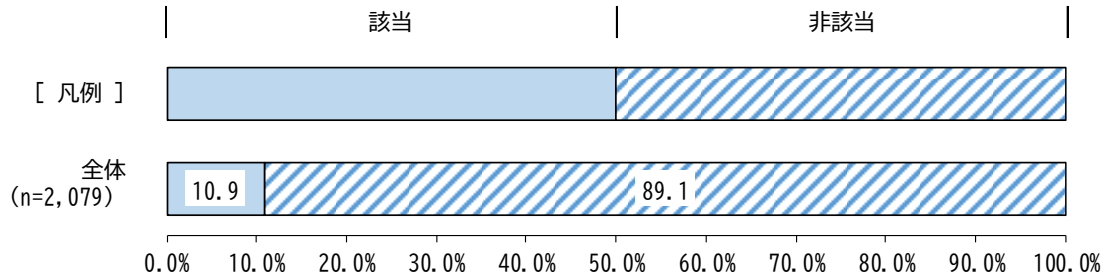
問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

○ 「減っていない」が40.6%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が31.7%、「減っている」が23.2%となっています。



閉じこもり傾向

○ 「該当」が10.9%、「非該当」が89.1%となっています。



◆閉じこもり傾向とは

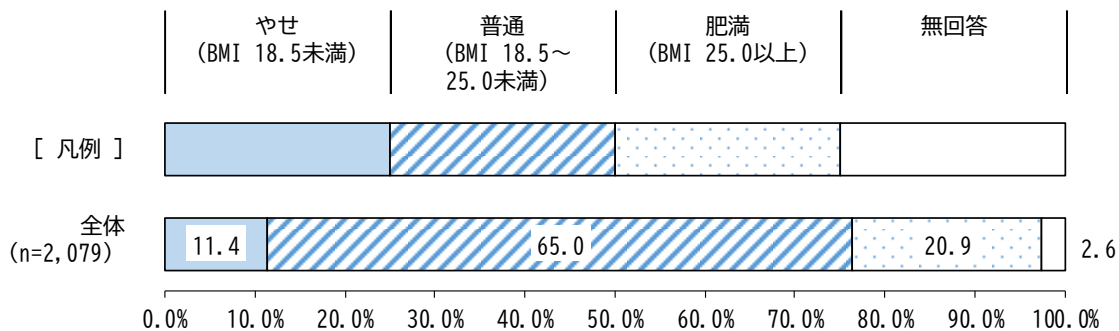
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「閉じこもり傾向」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問に該当した場合、「閉じこもり傾向あり」に該当します。

- ・問11 週に1回以上は外出するか → 「ほとんど外出しない」または「週1回」

問13 BMI

○ 「普通（BMI 18.5～25.0未満）」が65.0%で最も多く、次いで「肥満（BMI 25.0以上）」が20.9%、「やせ（BMI 18.5未満）」が11.4%となっています。

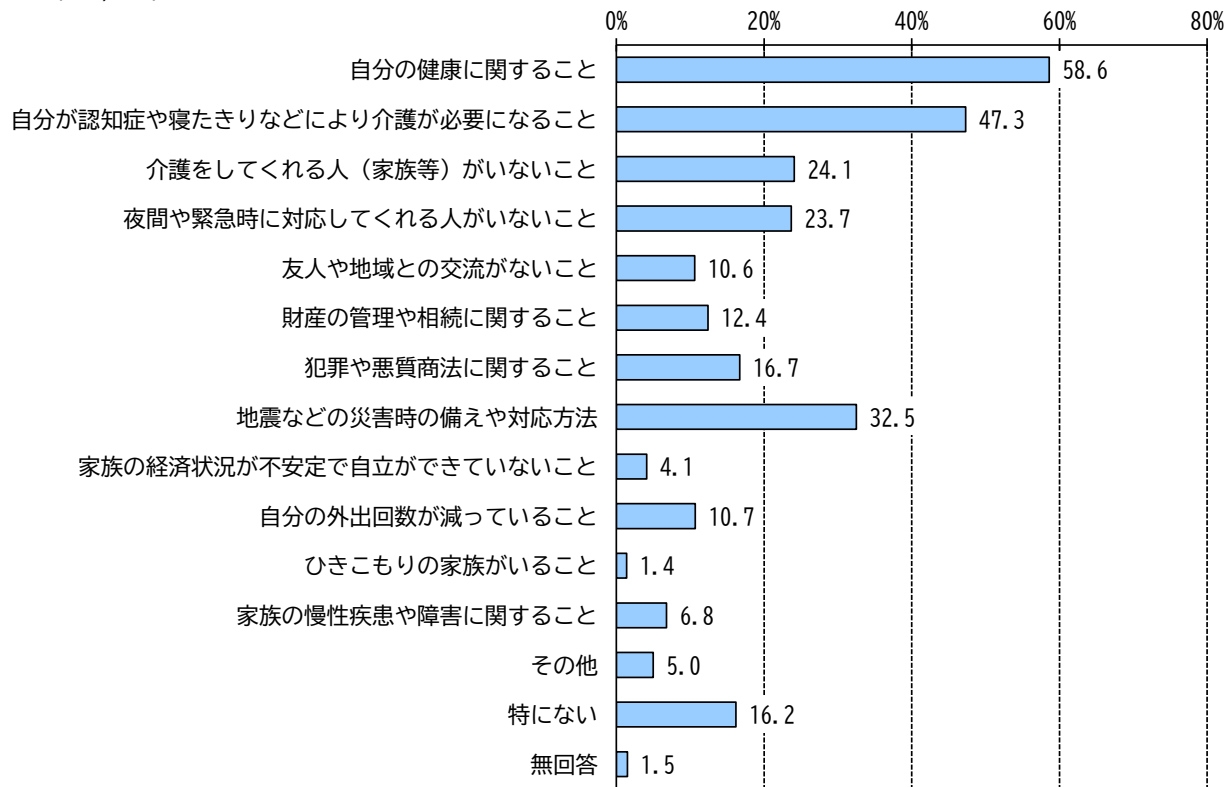


問14 あなたは、現在の生活で不安に感じていることはありますか。

○ 「自分の健康に関すること」が58.6%で最も多く、次いで「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が47.3%、「地震などの災害時の備えや対応方法」が32.5%となっています。

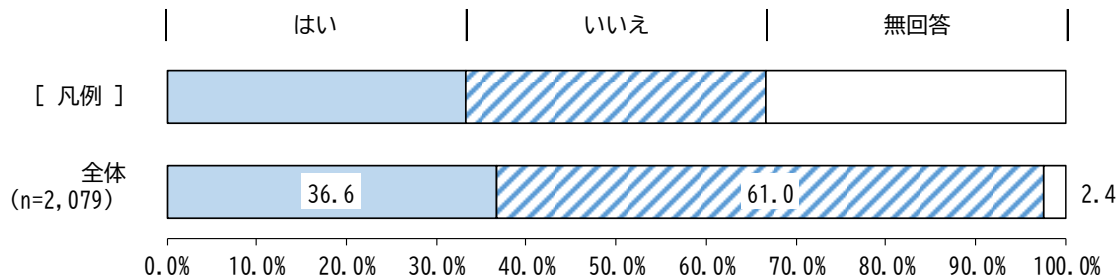
<複数回答>

(n=2,079)



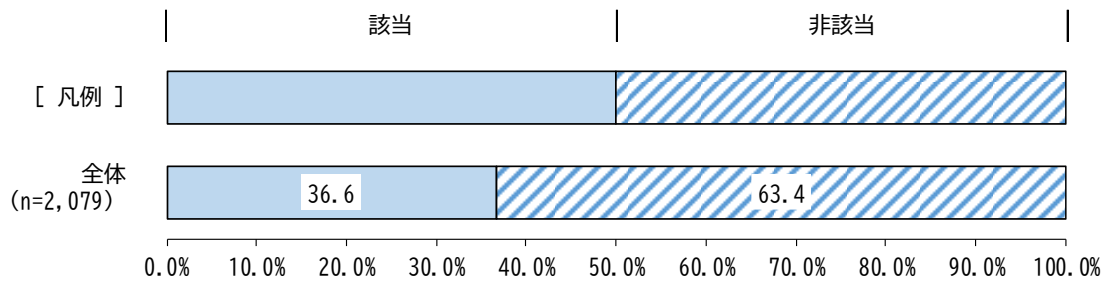
問15 物忘れが多いと感じますか。

○ 「はい」が36.6%、「いいえ」が61.0%となっています。



認知機能の低下リスク

○ 「該当」が36.6%、「非該当」が63.4%となっています。



◆認知機能の低下リスクとは

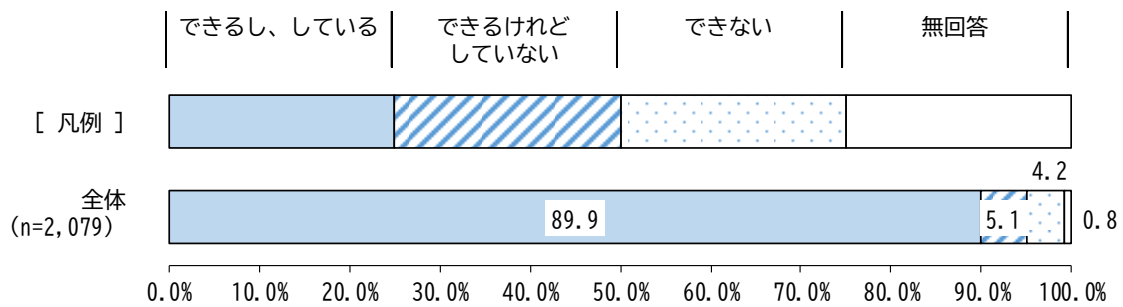
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「認知機能の低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問に該当した場合、「認知機能の低下リスクあり」に該当します。

- ・問15 物忘れが多いと感じるか → 「はい」

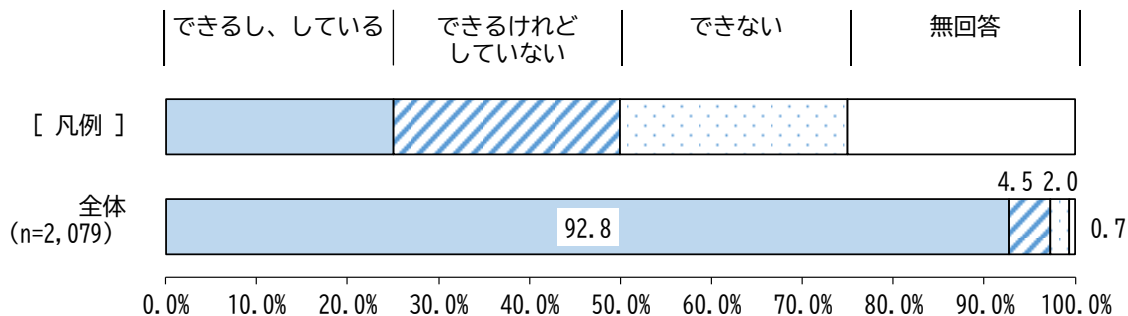
問16 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

○ 「できるし、している」が89.9%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が5.1%、「できない」が4.2%となっています。



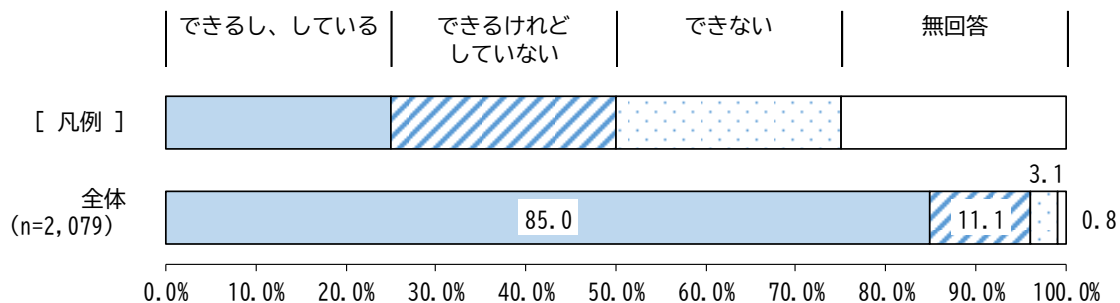
問17 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

○ 「できるし、している」が 92.8%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が 4.5%、「できない」が 2.0%となっています。



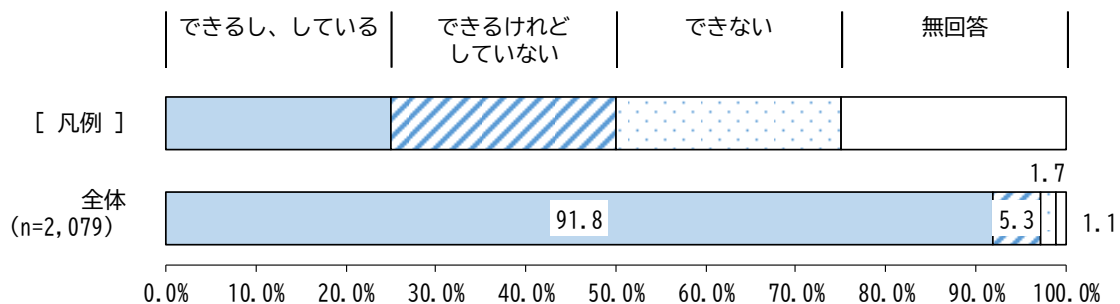
問18 自分で食事の用意をしていますか。

○ 「できるし、している」が 85.0%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が 11.1%、「できない」が 3.1%となっています。



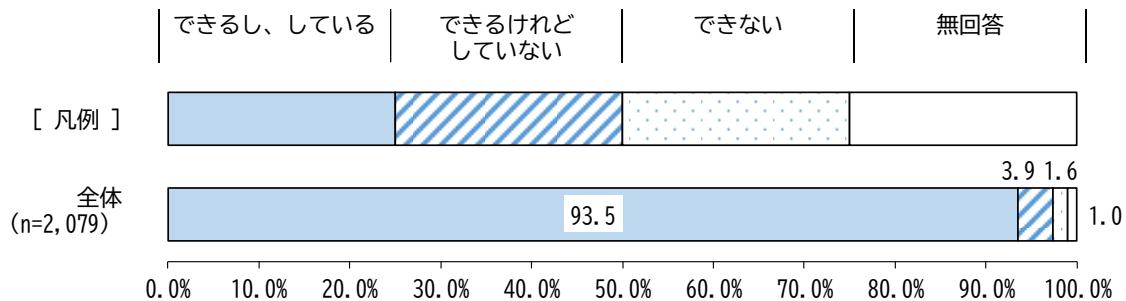
問19 自分で請求書の支払いをしていますか。

○ 「できるし、している」が 91.8%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が 5.3%、「できない」が 1.7%となっています。



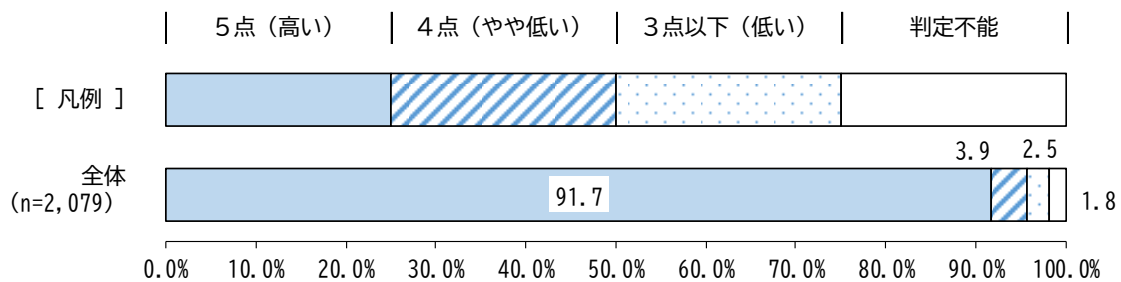
問20 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

○ 「できるし、している」が93.5%で最も多く、次いで「できるけれどしていない」が3.9%、「できない」が1.6%となっています。



IADLの低下

○ 「5点（高い）」が91.7%で最も多く、「4点（やや低い）」が3.9%、「3点以下（低い）」が2.5%となっており、IADLの低下者に該当した人は、6.4%となっています。



◆ IADLの低下とは

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「手段的ADLの低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の5問で、それぞれ「できない」を0点、「それ以外」を1点とし、5点が「高い（低下なし）」、4点が「やや低い（やや低下あり）」、0～3点が「低い（低下あり）」となります。

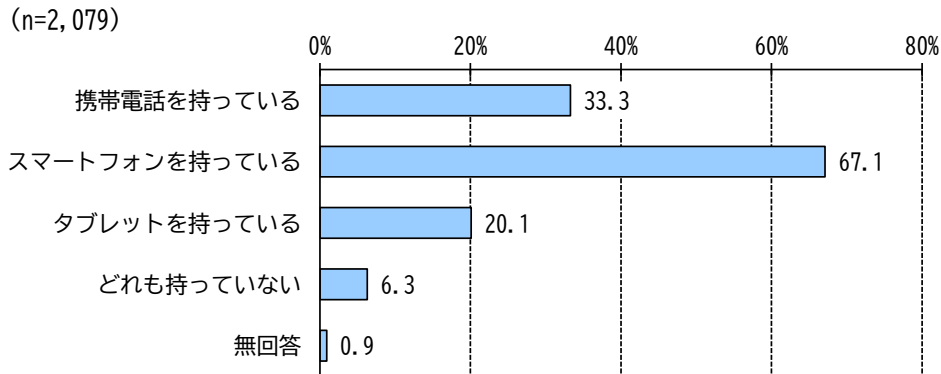
- ・問16 バスや電車を使って1人で外出しているか
- ・問17 自分で食品・日用品の買物をしているか
- ・問18 自分で食事の用意をしているか
- ・問19 自分で請求書の支払いをしているか
- ・問20 自分で預貯金の出し入れをしているか

(注) IADL (Instrumental Activity of Daily Living: 手段的日常生活動作) とは、日常生活を送る上で必要な動作の中で、ADL (日常生活動作) より高度なものです (交通機関の利用、買い物、家事、金銭管理などの動作・行動)。

問21 現在、携帯電話やスマートフォン（もしくはタブレット）を持っていますか。

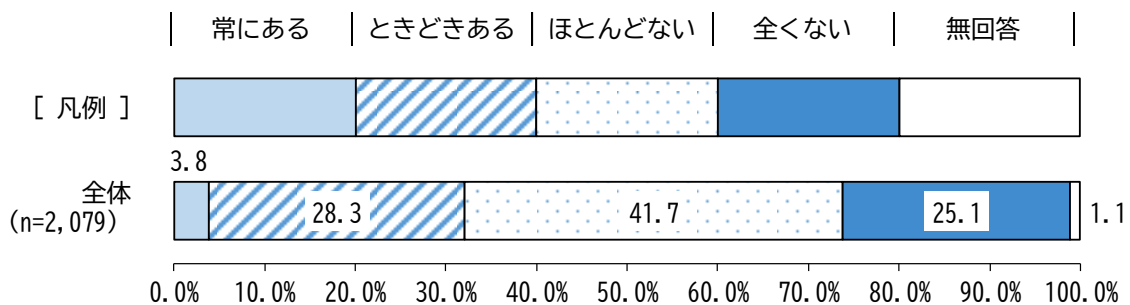
○ 「スマートフォンを持っている」が67.1%で最も多く、次いで「携帯電話を持っている」が33.3%、「タブレットを持っている」が20.1%となっています。

<複数回答>



問22 現在、孤独・孤立感を感じることはありますか。

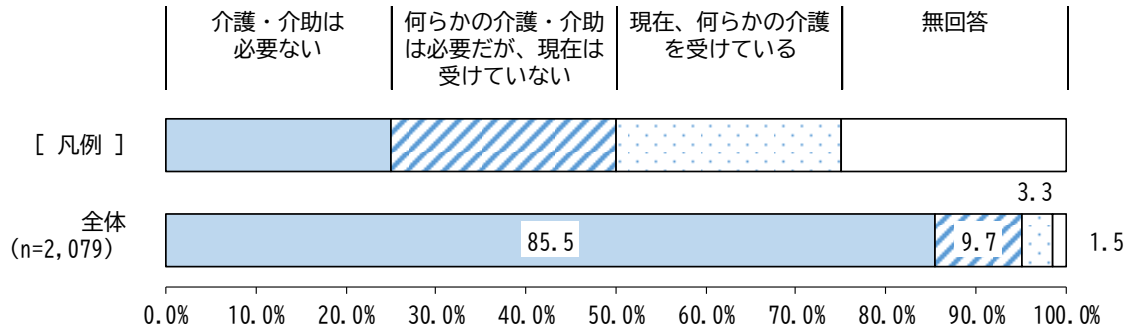
○ 「ほとんどない」が41.7%で最も多く、次いで「ときどきある」が28.3%、「全くない」が25.1%となっています。



4. 介護等の状況

問23 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

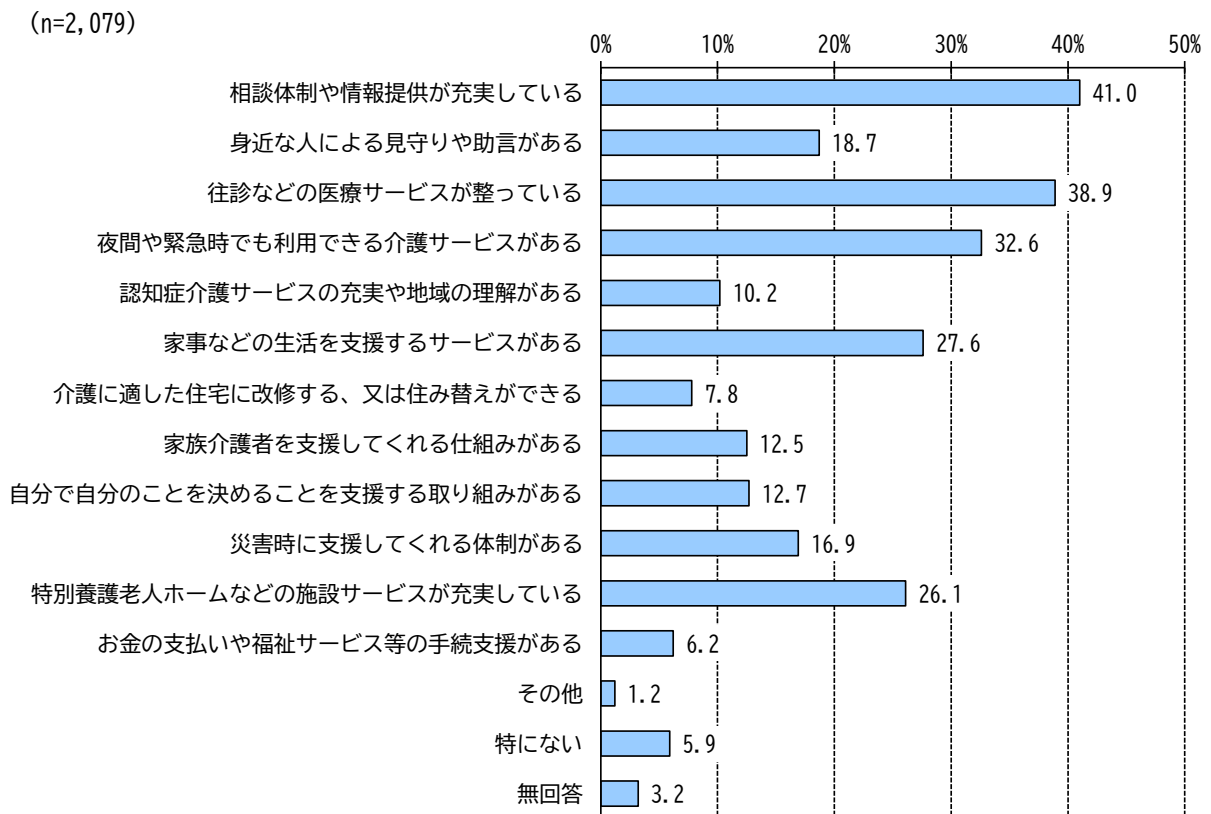
○ 「介護・介助は必要ない」が85.5%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.3%となっています。



問24 あなたは、介護が必要になった場合、地域で暮らし続けるためにどのようなことが必要だと考えますか。

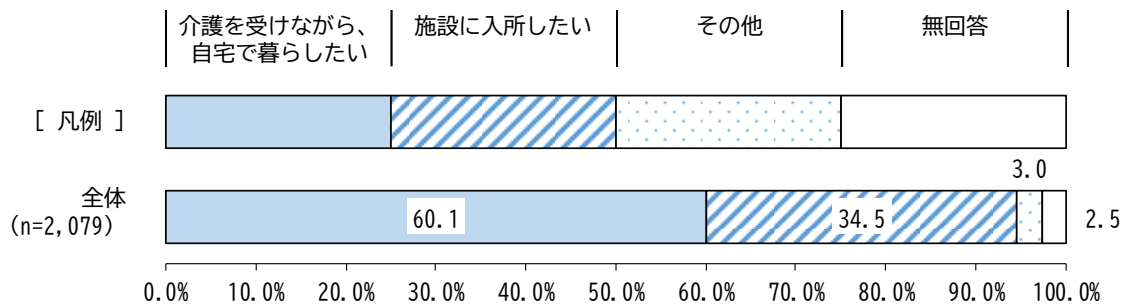
○ 「相談体制や情報提供が充実している」が41.0%で最も多く、次いで「往診などの医療サービスが整っている」が38.9%、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が32.6%となっています。

<複数回答／3つ以内>



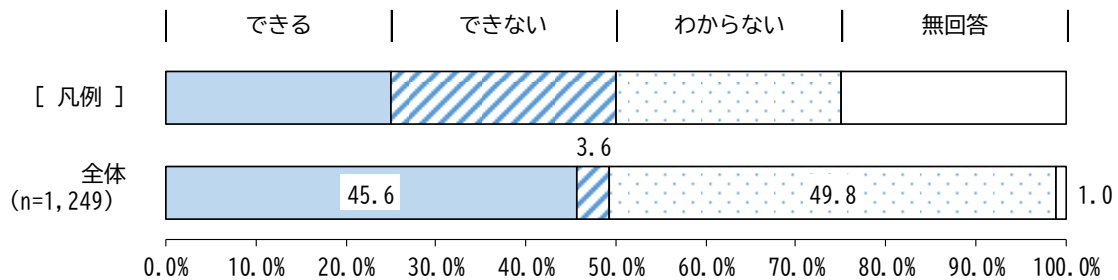
問25 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。

○ 「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が60.1%で最も多く、次いで「施設に入所したい」が34.5%、「その他」が3.0%となっています。



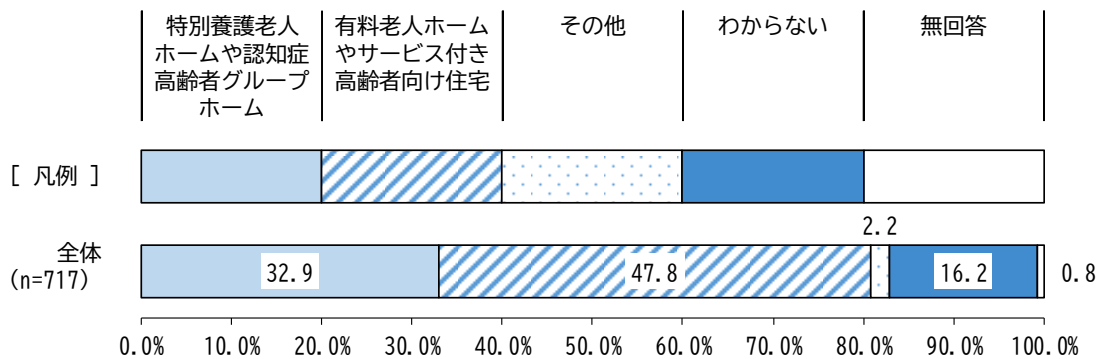
問25-1 在宅生活を実現できると思いますか。

○ 「わからない」が49.8%で最も多く、次いで「できる」が45.6%、「できない」が3.6%となっています。



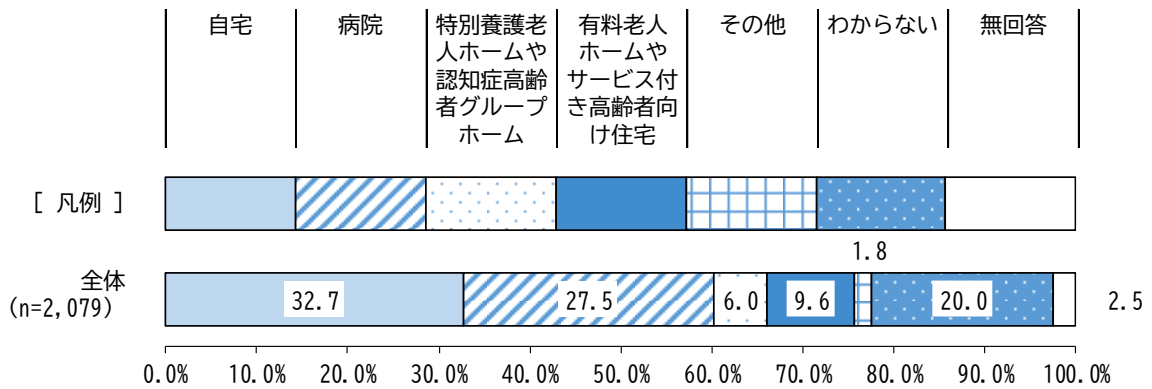
問25-2 入所したい施設をお答えください。

○ 「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が47.8%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム」が32.9%、「わからない」が16.2%となっています。



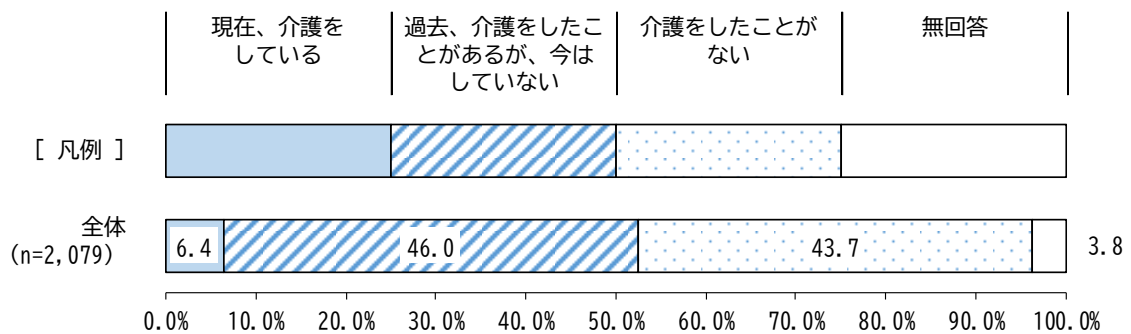
問26 あなたは、終末期をどこで迎えたいと思いますか。

○ 「自宅」が32.7%で最も多く、次いで「病院」が27.5%、「わからない」が20.0%となっています。



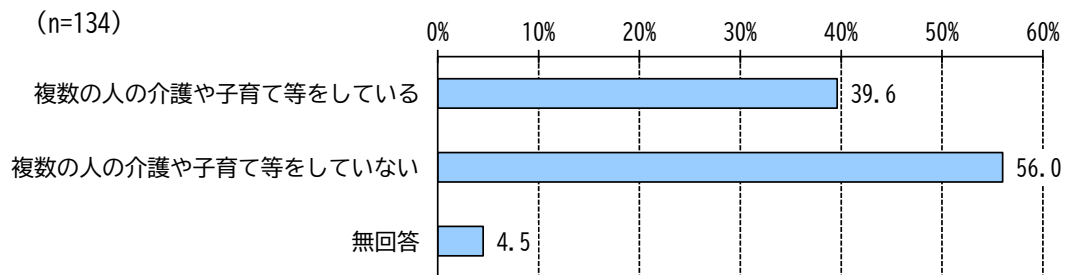
問27 あなたは、ご家族、又は身近な方の介護をしていますか。

○ 「過去、介護をしたことがあるが、今はしていない」が46.0%で最も多く、次いで「介護をしたことがない」が43.7%、「現在、介護をしている」が6.4%となっています。



問27-1 問27で、現在あなたが介護している人を含めて、複数の人の介護や子育て等を行っていますか。

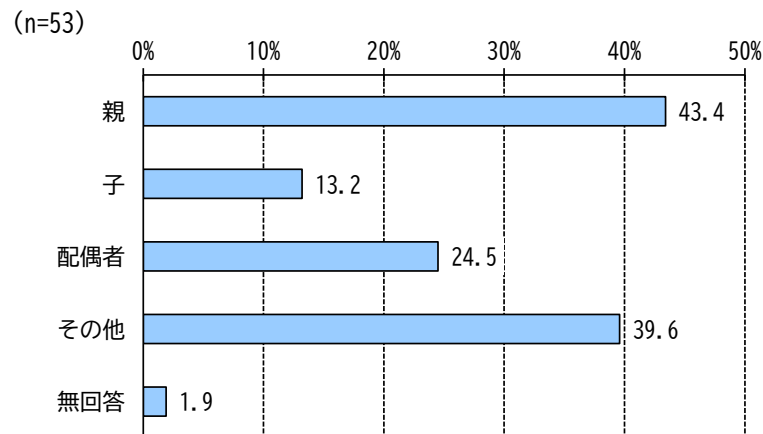
○ 「複数の人の介護や子育て等をしている」が 39.6%、「複数の人の介護や子育て等をしていない」が 56.0%となっています。



問27-1-1 介護や子育てしている人の数をお答えください。

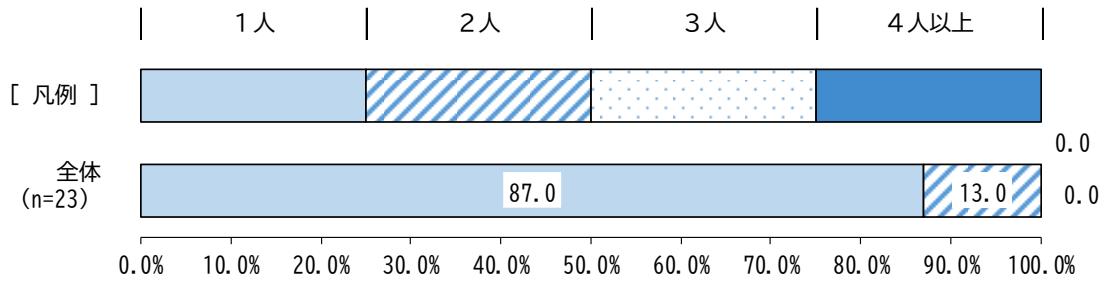
○ 「親」が 43.4%で最も多く、次いで「その他」が 39.6%、「配偶者」が 24.5%となっています。

<複数回答>



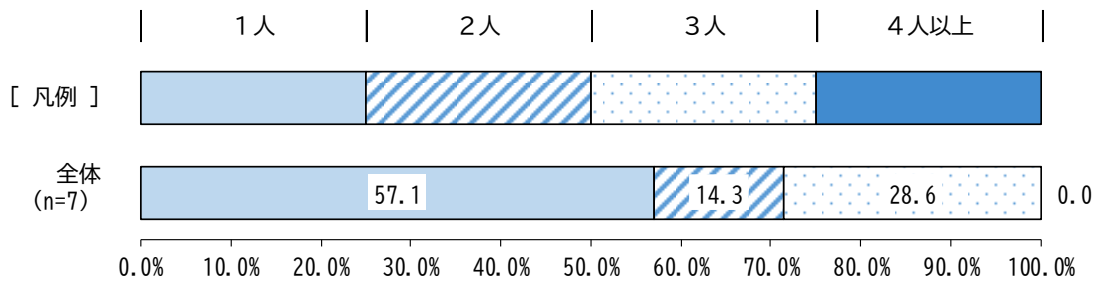
他の介護・子育ての人数 親

○ 「1人」が87.0%で最も多く、次いで「2人」が13.0%となっています。



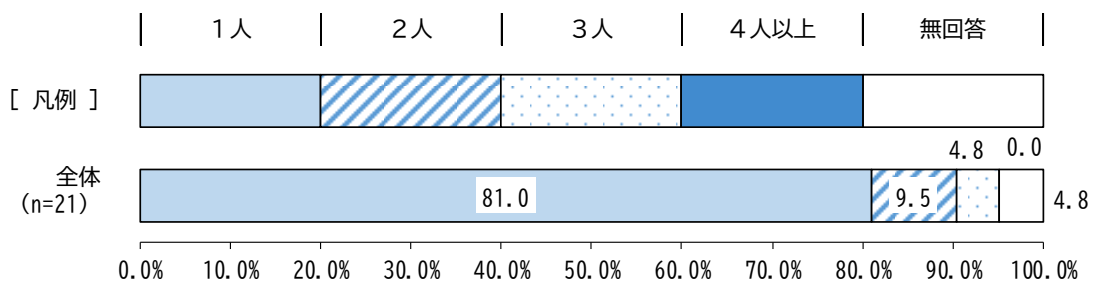
他の介護・子育ての人数 子

○ 「1人」が57.1%で最も多く、次いで「3人」が28.6%、「2人」が14.3%となっています。



他の介護・子育ての人数 その他

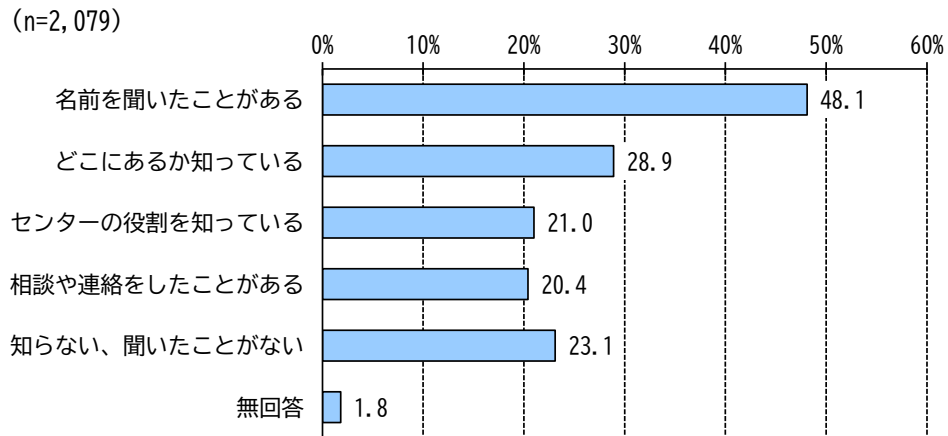
○ 「1人」が81.0%で最も多く、次いで「2人」が9.5%、「3人」が4.8%となっています。



問28 あなたは、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）をご存知ですか。

○ 「名前を聞いたことがある」が48.1%で最も多く、次いで「どこにあるか知っている」が28.9%、「知らない、聞いたことがない」が23.1%となっています。

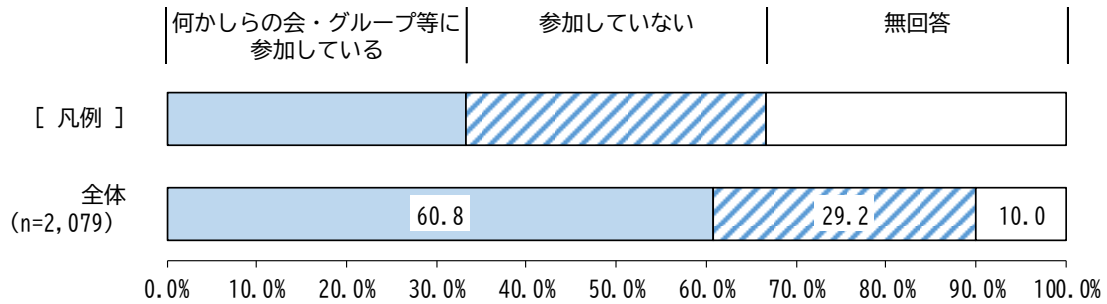
<複数回答>



5. 地域活動

問29 会・グループ活動への参加状況

○ 「何かしらの会・グループ等に参加している」が60.8%、「参加していない」が29.2%となっています。

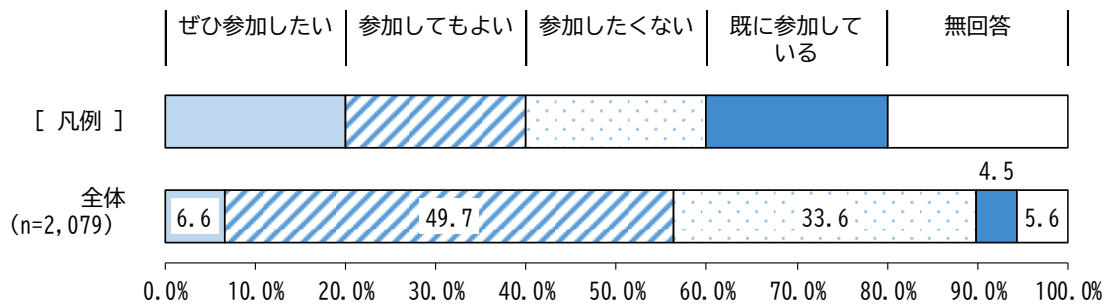


(単位:%)

	回答者数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
① ボランティアのグループ	2,079	0.3	1.0	1.0	2.4	1.9	69.8	23.6
② スポーツ関係のグループやクラブ	2,079	4.5	6.5	6.3	3.8	2.0	57.9	19.0
③ 趣味関係のグループ	2,079	0.9	3.5	4.7	10.0	4.1	57.2	19.6
④ 学習・教養サークル	2,079	0.3	0.9	1.9	3.8	3.3	65.7	24.2
⑤ (「かよい～の」など) 介護予防のための通いの場	2,079	0.2	0.4	0.7	0.4	0.5	72.9	25.0
⑥ 高齢者クラブ	2,079	0.1	0.4	0.5	1.3	0.7	72.8	24.1
⑦ 町会・自治会	2,079	0.4	0.3	0.5	2.8	8.7	64.1	23.3
⑧ 収入のある仕事	2,079	18.0	7.7	1.3	2.2	2.1	47.5	21.1

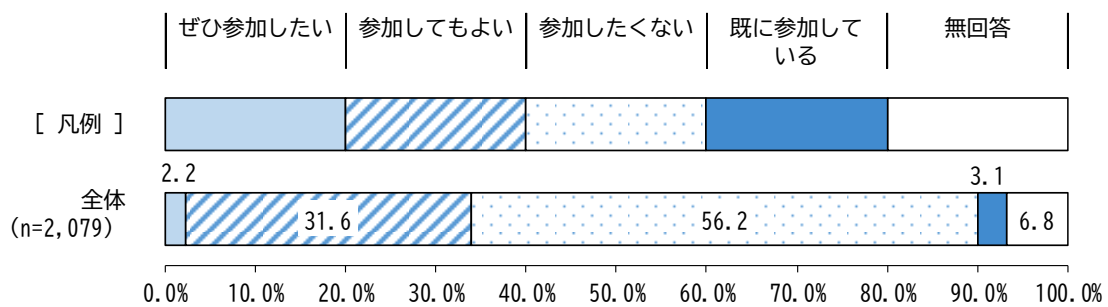
問30 グループ活動への参加意向（参加者として）

○ 「参加してもよい」が49.7%で最も多く、次いで「参加したくない」が33.6%、「ぜひ参加したい」が6.6%となっています。



問31 グループ活動への参加意向（世話役として）

○ 「参加したくない」が56.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が31.6%、「既に参加している」が3.1%となっています。

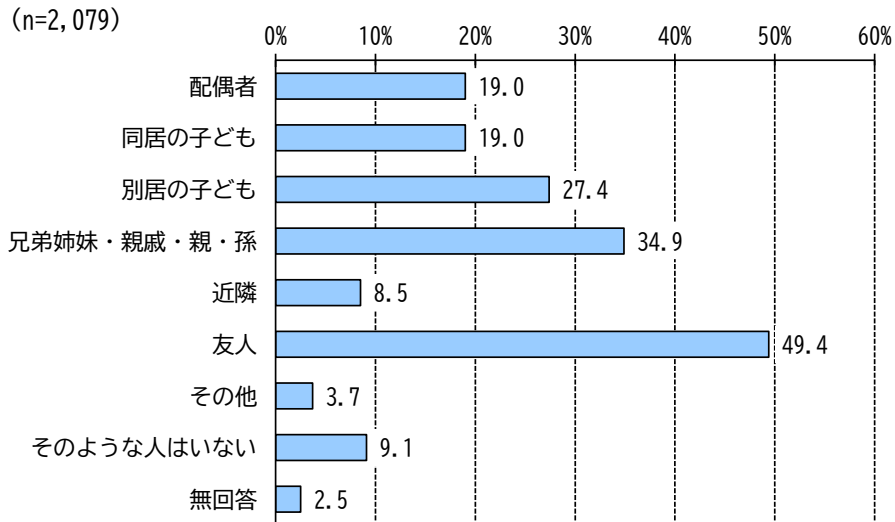


6. たすけあい

問32 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

○ 「友人」が49.4%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.9%、「別居の子ども」が27.4%となっています。

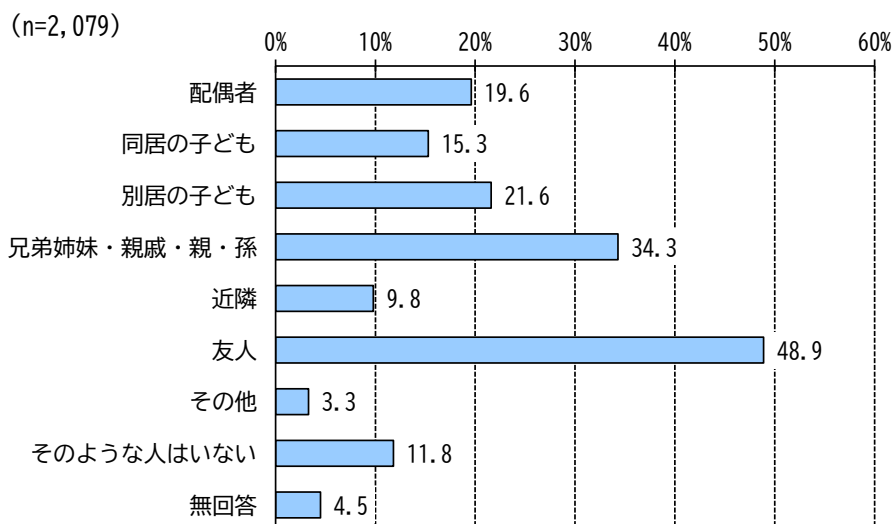
<複数回答>



問33 あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

○ 「友人」が48.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.3%、「別居の子ども」が21.6%となっています。

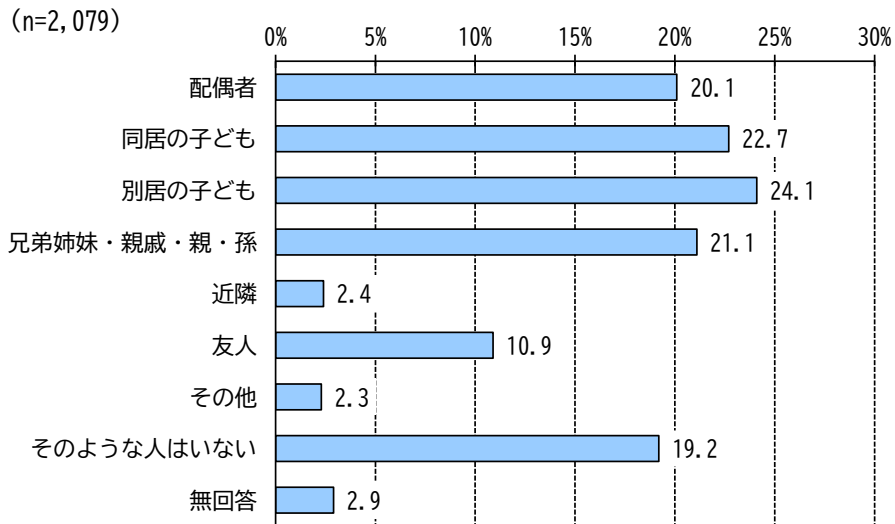
<複数回答>



問34 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

○ 「別居の子ども」が24.1%で最も多く、次いで「同居の子ども」が22.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が21.1%となっています。

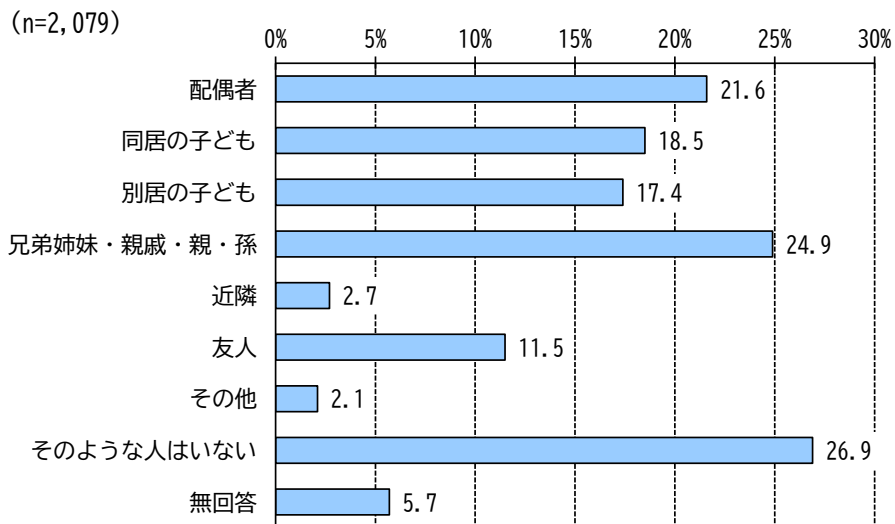
<複数回答>



問35 看病や世話をしてあげる人

○ 「そのような人はいない」が26.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.9%、「配偶者」が21.6%となっています。

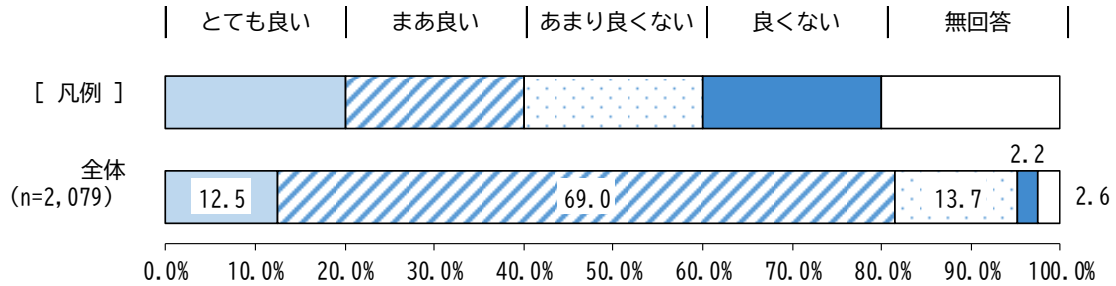
<複数回答>



7. 健康・介護予防

問36 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

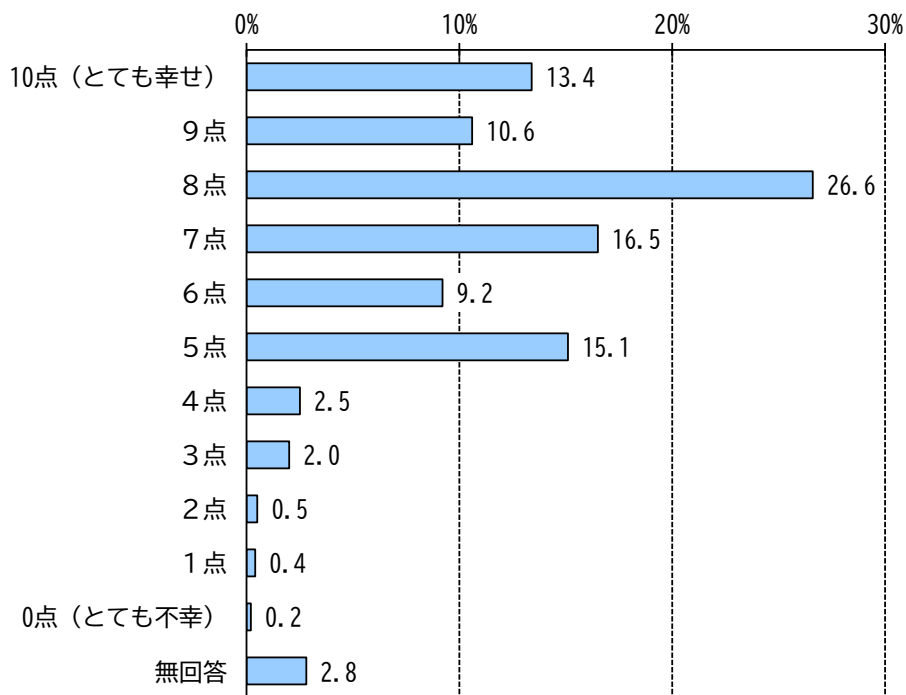
○ 「まあ良い」が69.0%で最も多く、次いで「あまり良くない」が13.7%、「とても良い」が12.5%となっています。



問37 あなたは、現在どの程度幸せですか。

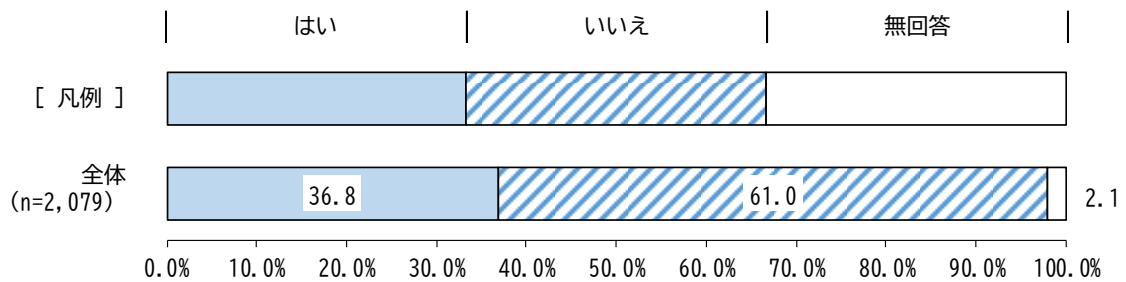
○ 「8点」が26.6%で最も多く、次いで「7点」が16.5%、「5点」が15.1%となっています。

(n=2,079)



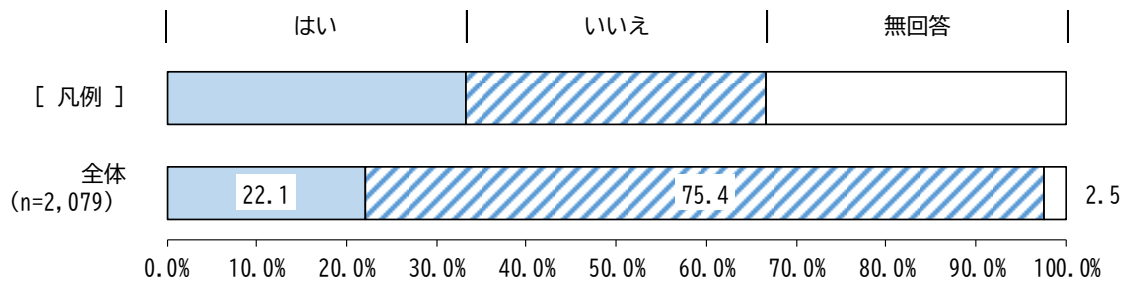
問38 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

○ 「はい」が36.8%、「いいえ」が61.0%となっています。



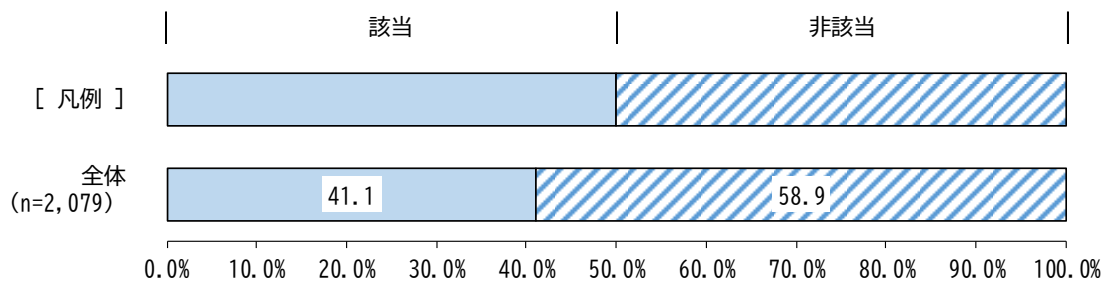
問39 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

○ 「はい」が22.1%、「いいえ」が75.4%となっています。



うつ傾向

○ 「該当」が41.1%、「非該当」が58.9%となっています。



◆うつ傾向とは

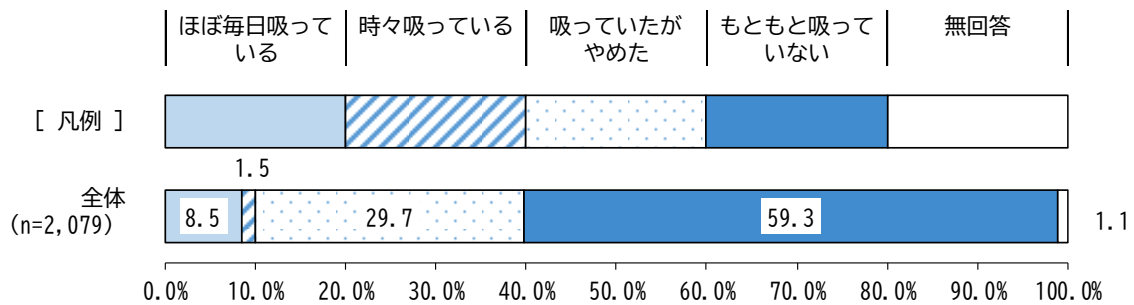
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「うつ傾向」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の2問中、いずれか1問でも該当した場合、「うつ傾向あり」に該当します。

- ・問38 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか
→ 「はい」
- ・問39 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか
→ 「はい」

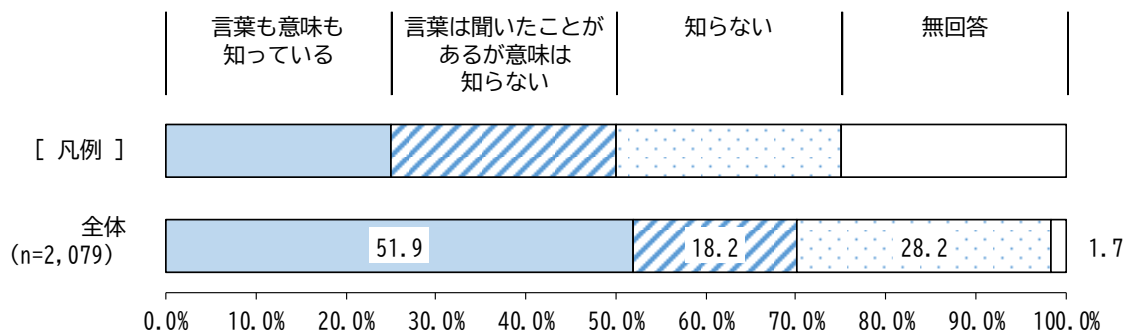
問40 タバコは吸っていますか。

○ 「もともと吸っていない」が59.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.7%、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%となっています。



問41 あなたは、フレイルという言葉を知っていますか。

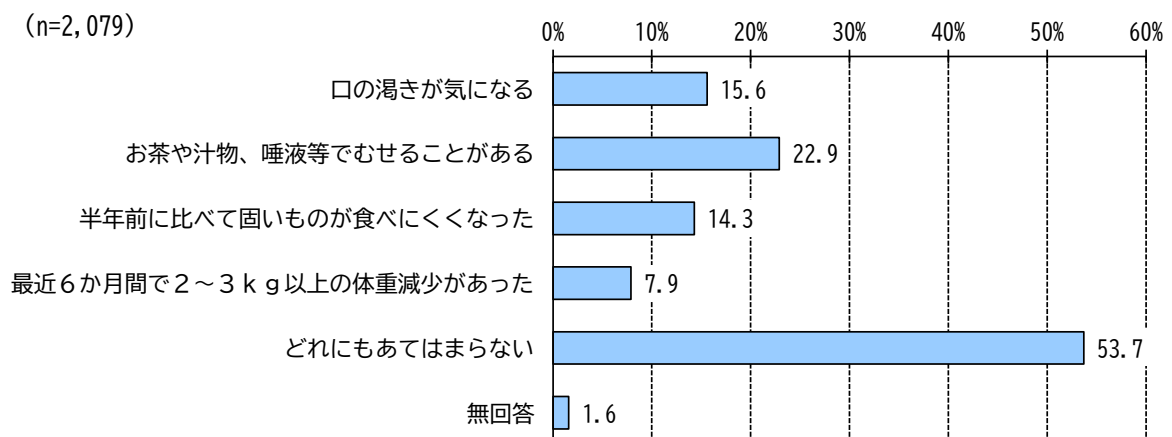
○ 「言葉も意味も知っている」が51.9%で最も多く、次いで「知らない」が28.2%、「言葉は聞いたことがあるが意味は知らない」が18.2%となっています。



問42 食事・栄養、口の健康について、あなたがあてはまることはありますか。

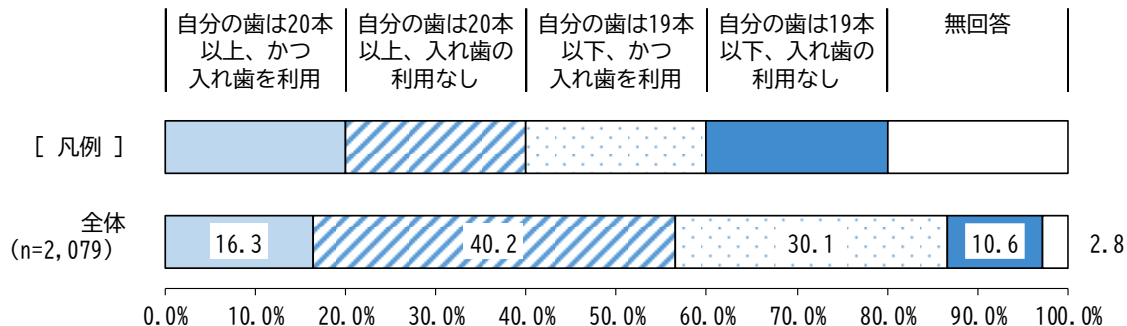
○ 「どれにもあてはまらない」が53.7%で最も多く、次いで「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」が22.9%、「口の渇きが気になる」が15.6%となっています。

<複数回答>



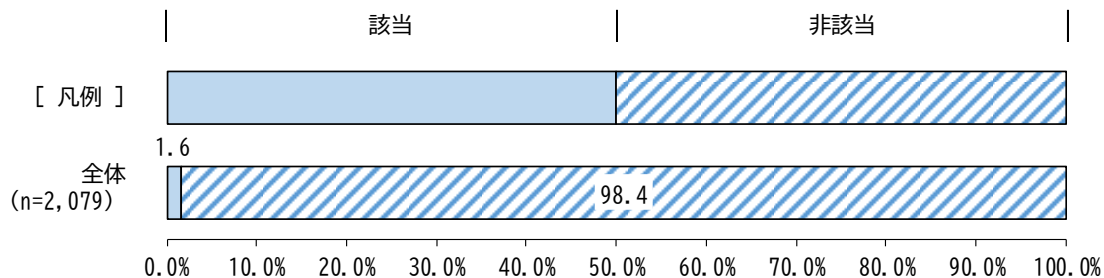
問43 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

○ 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.2%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が30.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.3%となっています。



低栄養状態

○ 「該当」が1.6%、「非該当」が98.4%となっています。



◆低栄養状態とは

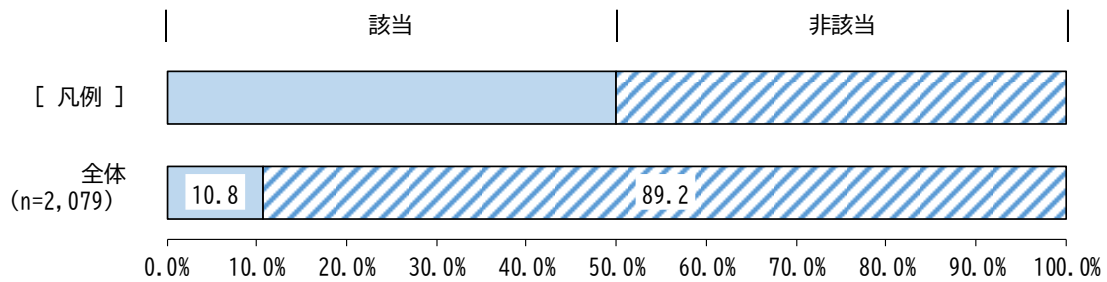
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「低栄養状態」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の2問中、2問両方に該当した場合、「低栄養状態」に該当します。

- ・問13 BMI（身長・体重から算出）
→「BMIが18.5以下」
- ・問42 食事・栄養、口の健康、あなたがあてはまることはあるか
→「最近6か月で2～3kg以上の体重減少があった」に回答

口腔機能の低下

○ 「該当」が10.8%、「非該当」が89.2%となっています。



◆口腔機能の低下とは

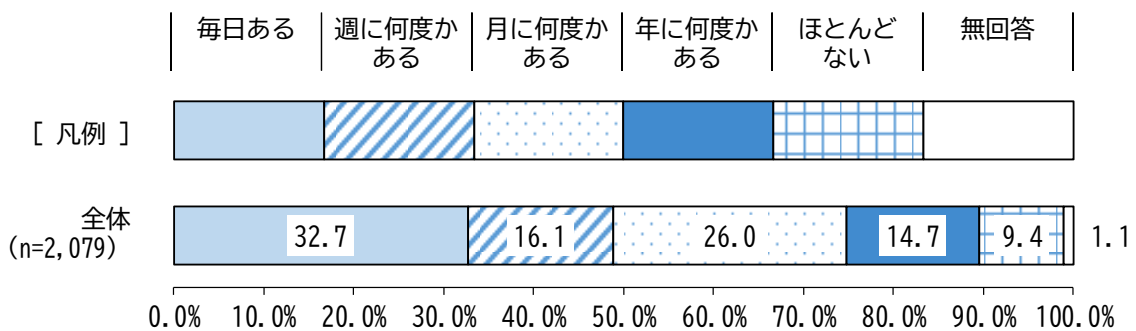
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月 厚生労働省）」に基づき、「口腔機能の低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問に該当した場合、「口腔機能の低下」に該当します。

- ・問42 食事・栄養、口の健康について、あなたがあてはまることはあるか
 → 「口の渴きが気になる」「お茶や唾液等でむせることがある」「半年前に比べ固いものが食べにくくなった」の中で2項目以上に該当

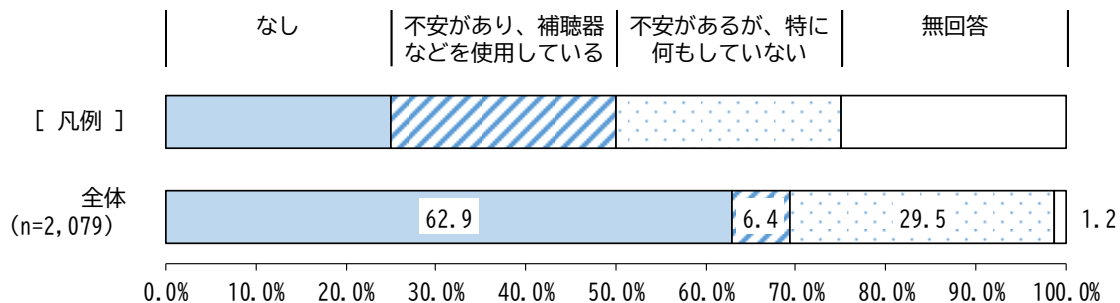
問44 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

○ 「毎日ある」が32.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」が26.0%、「週に何度かある」が16.1%となっています。



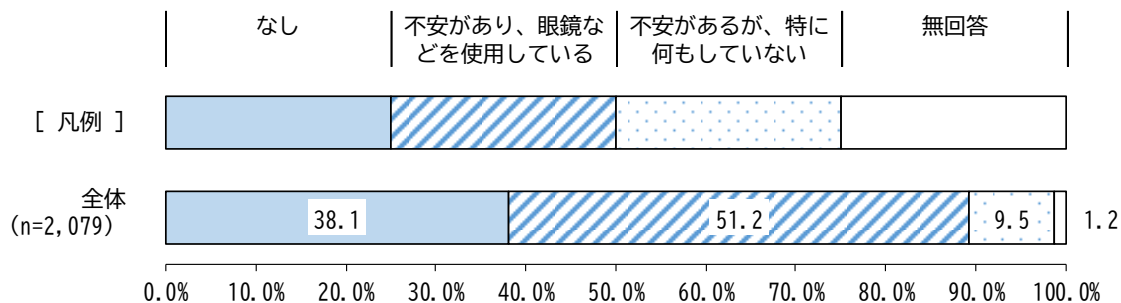
問45 聴覚について、不安に感じることはありますか。

○ 「なし」が62.9%で最も多く、次いで「不安があるが、特に何もしていない」が29.5%、「不安があり、補聴器などを使用している」が6.4%となっています。



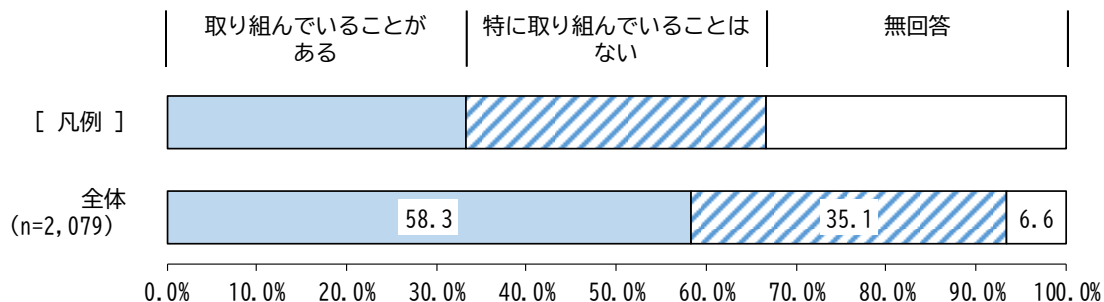
問46 視覚について、不安に感じることはありますか。

○ 「不安があり、眼鏡などを使用している」が51.2%で最も多く、次いで「なし」が38.1%、「不安があるが、特に何もしていない」が9.5%となっています。



問47 あなたは、健康の維持・増進や介護予防のため、現在取り組んでいることがありますか。

○ 「取り組んでいることがある」が58.3%、「特に取り組んでいることはない」が35.1%となっています。

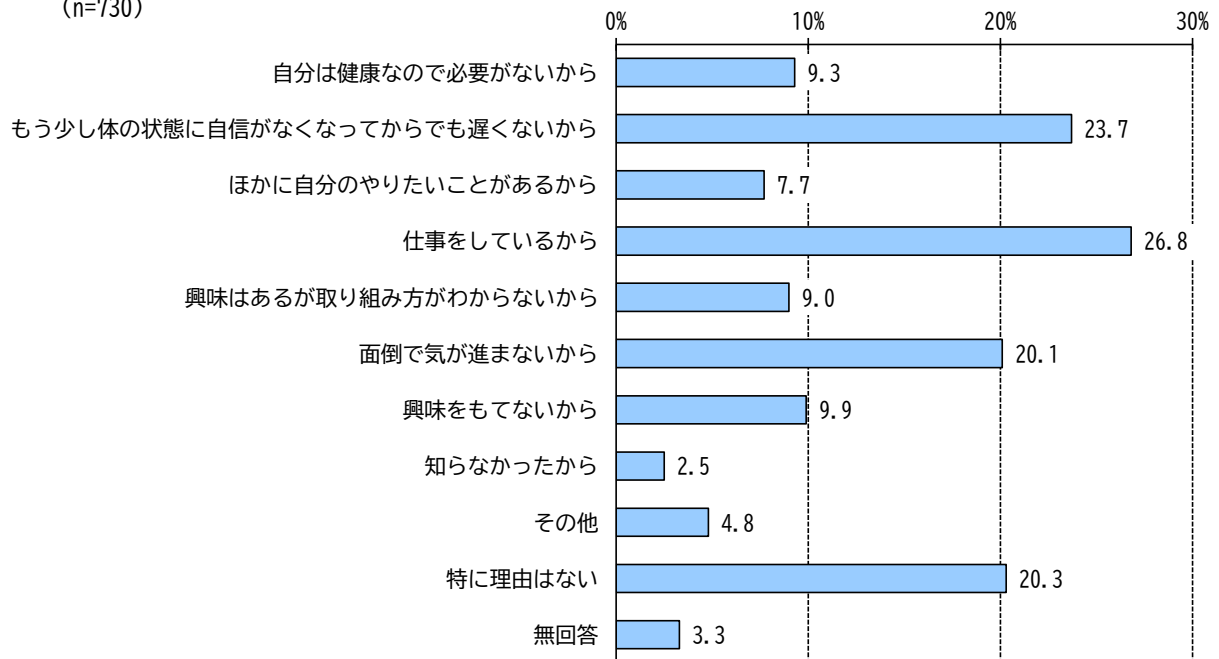


問47-1 取り組んでいない主な理由は何ですか。

○ 「仕事をしているから」が26.8%で最も多く、次いで「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が23.7%、「特に理由はない」が20.3%となっています。

<複数回答>

(n=730)

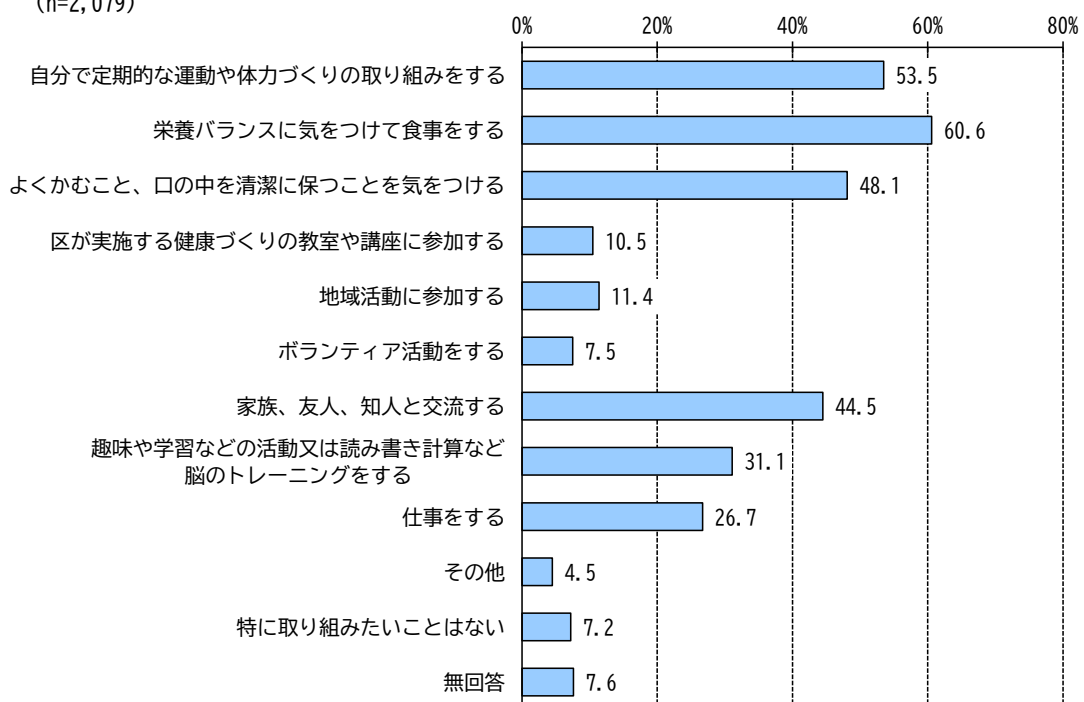


問48 あなたは、健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたいことがありますか。

○ 「栄養バランスに気をつけて食事をする」が60.6%で最も多く、次いで「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が53.5%、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける」が48.1%となっています。

<複数回答>

(n=2,079)



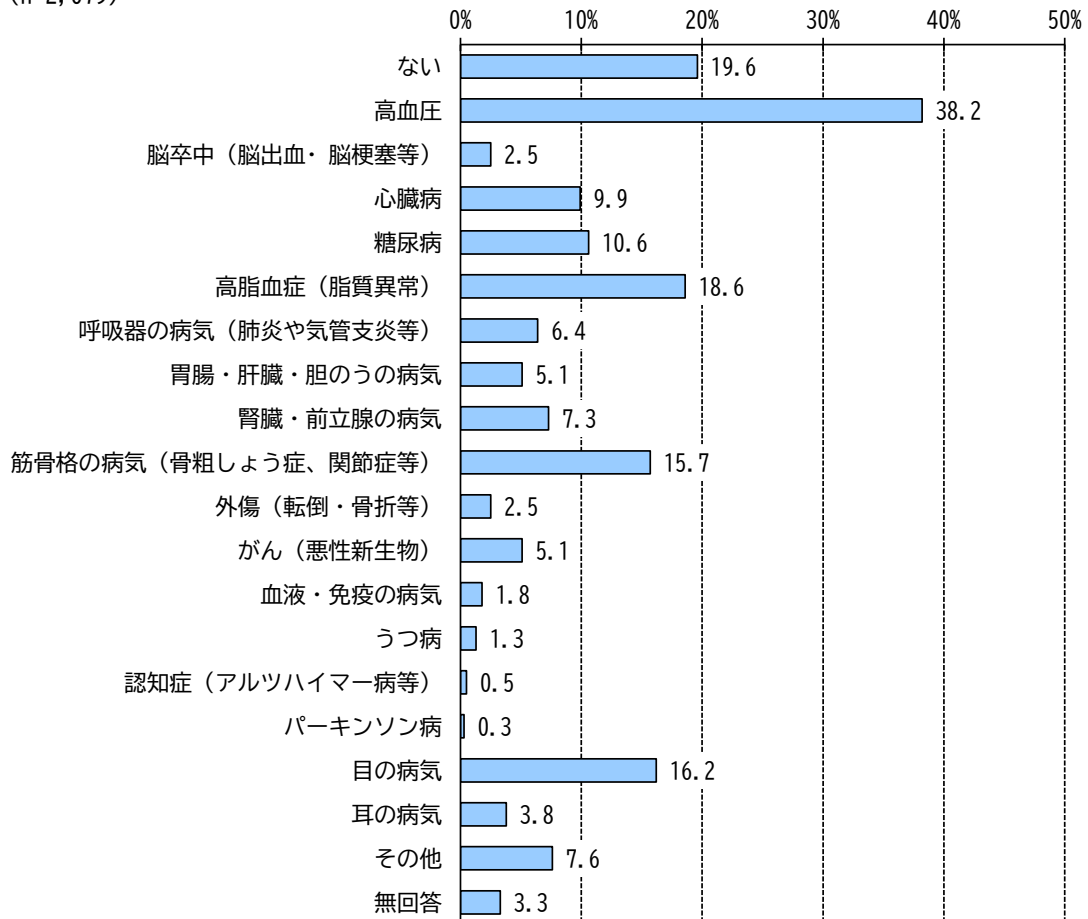
8. 医療

問49 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

○ 「高血圧」が38.2%で最も多く、次いで「ない」が19.6%、「高脂血症（脂質異常）」が18.6%となっています。

<複数回答>

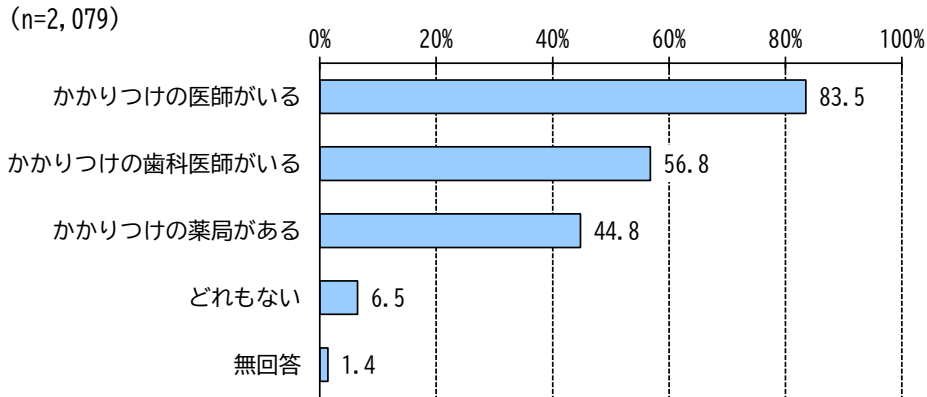
(n=2,079)



問50 あなたには、かかりつけ医・歯科医・薬局がありますか。

○ 「かかりつけの医師がいる」が 83.5%で最も多く、次いで「かかりつけの歯科医師がいる」が 56.8%、「かかりつけの薬局がある」が 44.8%となっています。

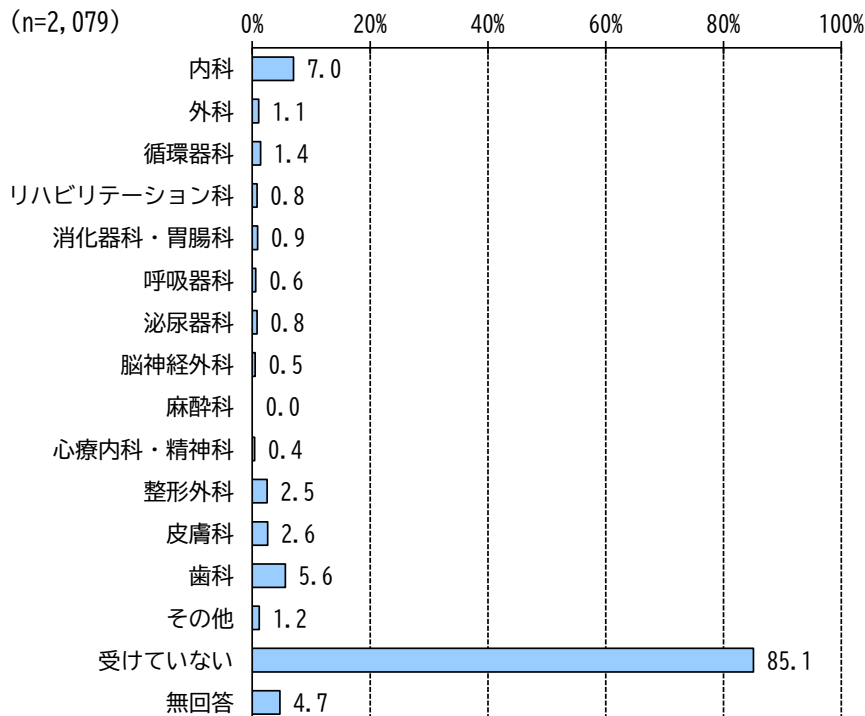
<複数回答>



問51 あなたが、過去1年間に病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等での訪問による治療（往診）を受けた科目は何ですか。

○ 「受けていない」が 85.1%で最も多く、次いで「内科」が 7.0%、「歯科」が 5.6%となっています。

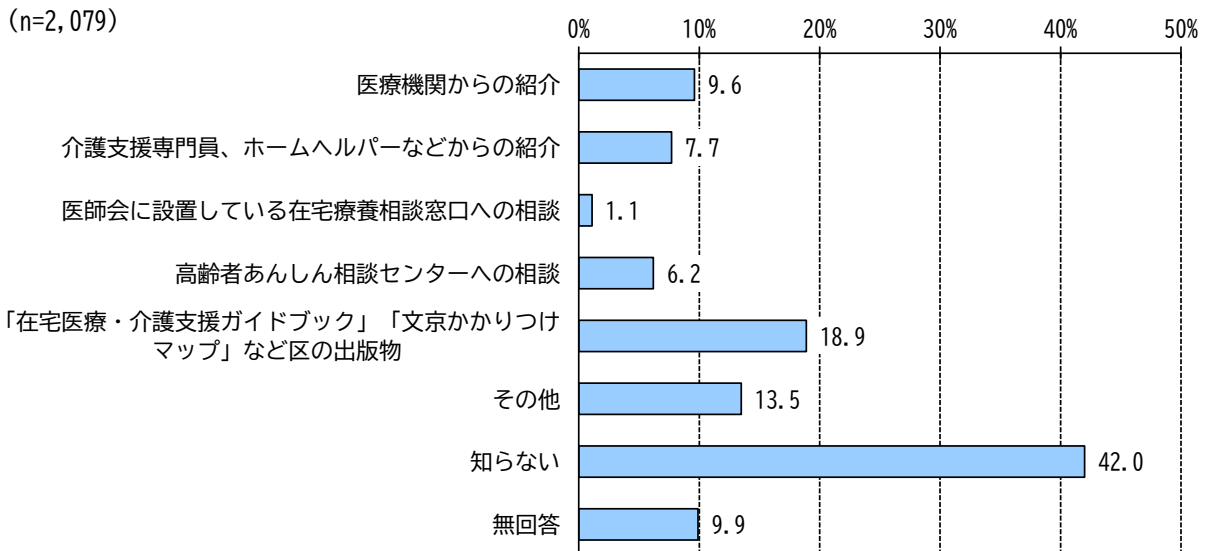
<複数回答>



問52 あなたは在宅医療をどのようにして知りましたか。

○ 「知らない」が42.0%で最も多く、次いで「在宅医療・介護支援ガイドブック」「文京かかりつけマップ」など区の出版物」が18.9%、「その他」が13.5%となっています。

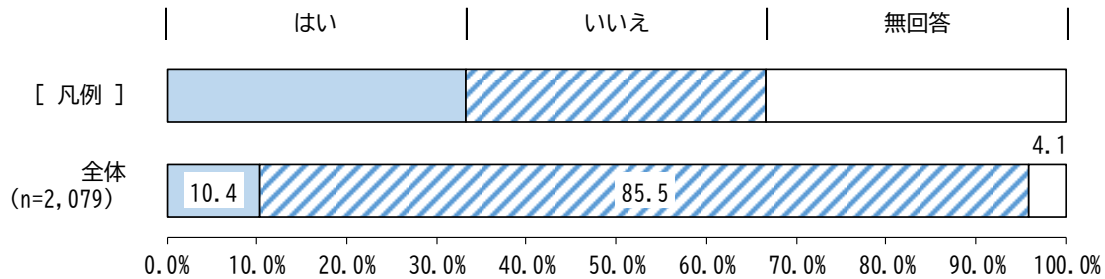
<複数回答>



9. 認知症

問53 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

○ 「はい」が10.4%、「いいえ」が85.5%となっています。

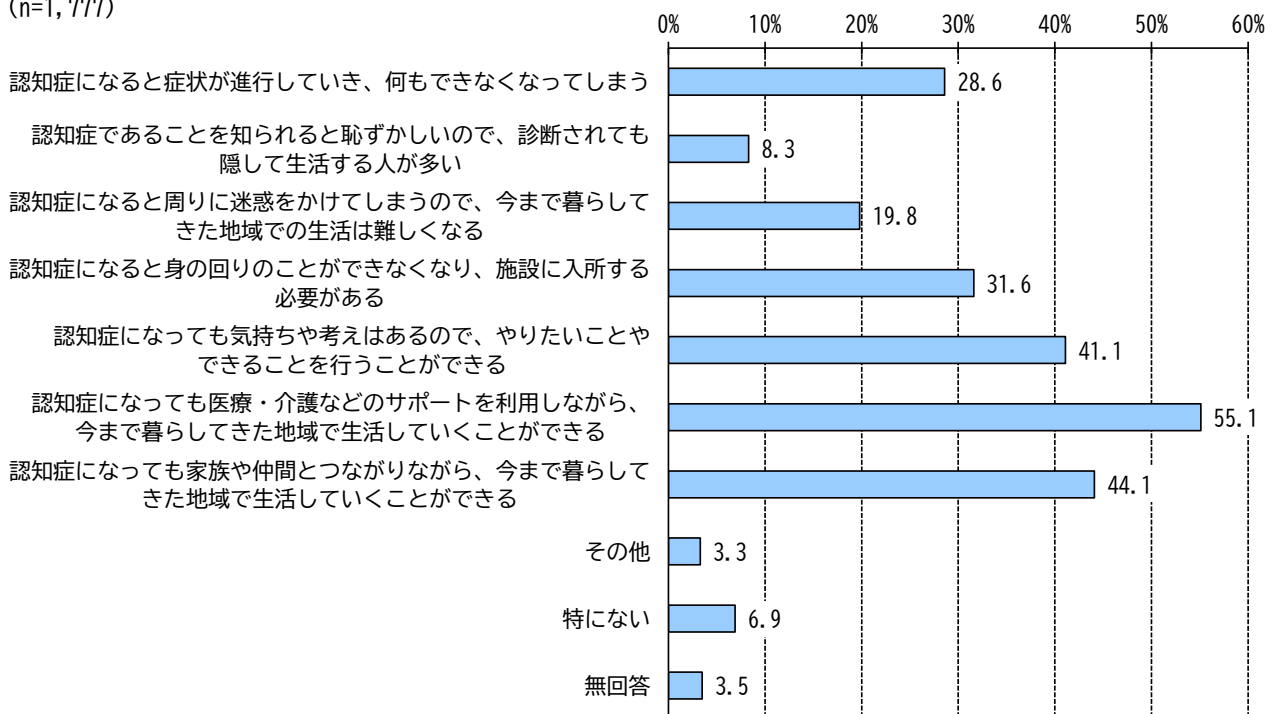


問53-1 あなたは、認知症についてどのようなイメージをお持ちですか。

○ 「認知症になっても医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していくことができる」が55.1%で最も多く、次いで「認知症になっても家族や仲間とつながりながら、今まで暮らしてきた地域で生活していくことができる」が44.1%、「認知症になっても気持ちや考えはあるので、やりたいことやできることを行うことができる」が41.1%となっています。

<複数回答>

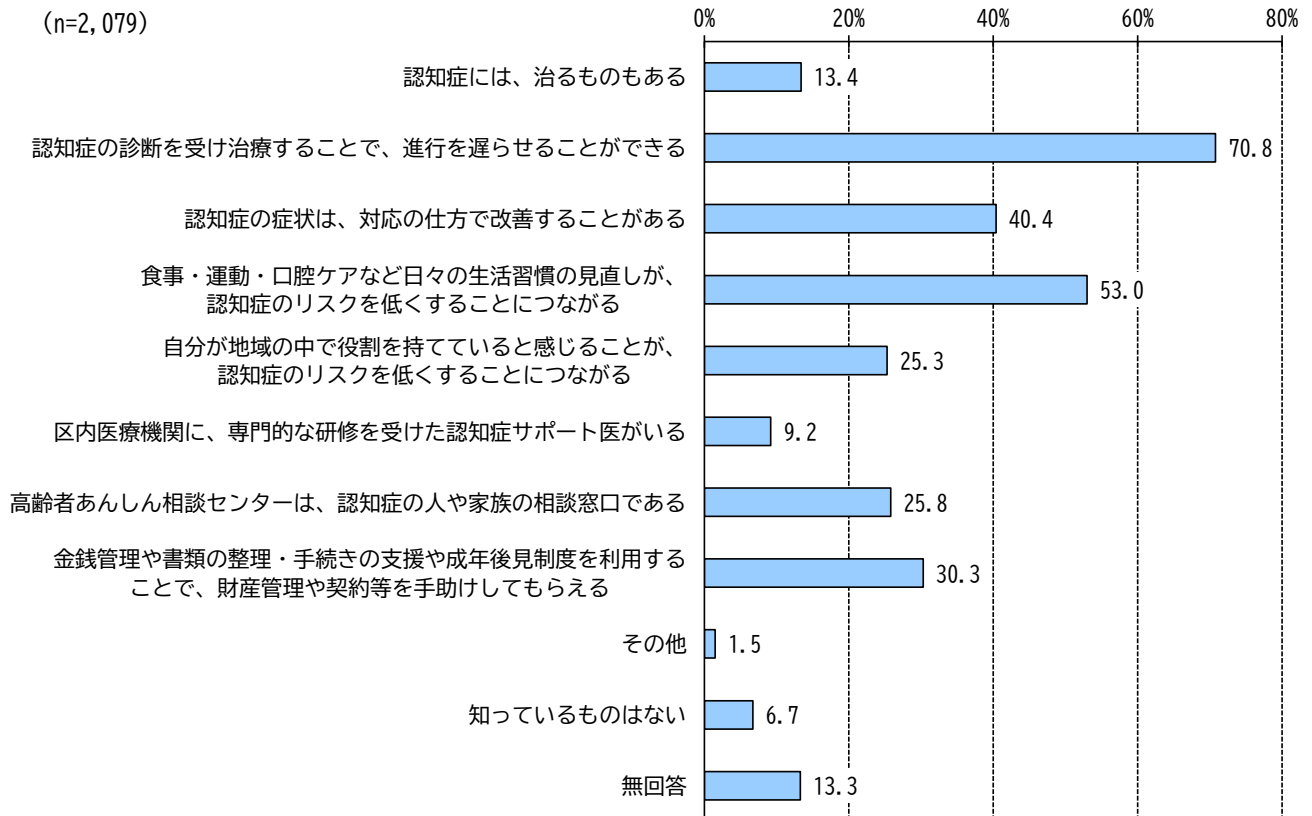
(n=1,777)



問54 あなたは、認知症についてどのようなことをご存知ですか。

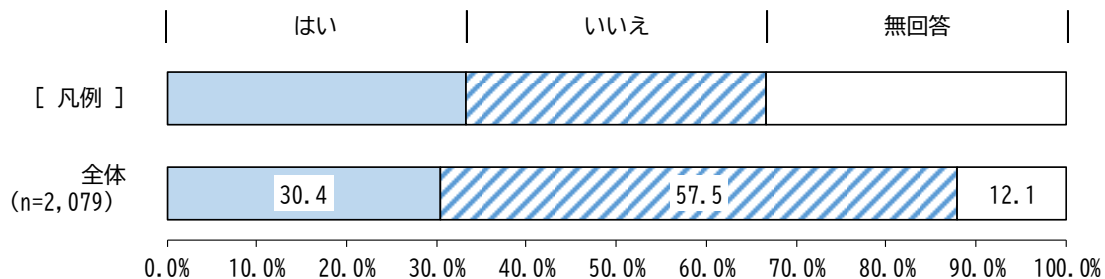
○ 「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が70.8%で最も多く、次いで「食事・運動・口腔ケアなど日々の生活習慣の見直しが、認知症のリスクを低くすることにつながる」が53.0%、「認知症の症状は、対応の仕方改善することがある」が40.4%となっています。

<複数回答>



問55 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

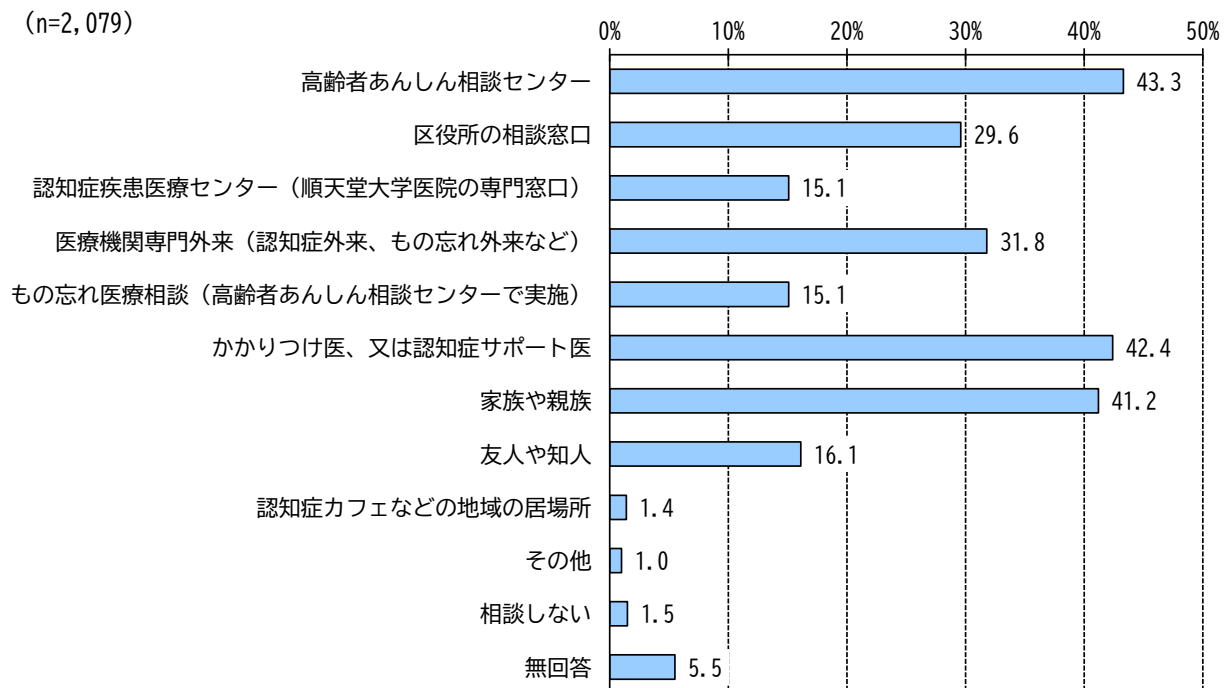
○ 「はい」が30.4%、「いいえ」が57.5%となっています。



問56 あなたは、認知症に関する相談をする場合、どちらへ相談すると思いますか。

○ 「高齢者あんしん相談センター」が43.3%で最も多く、次いで「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が42.4%、「家族や親族」が41.2%となっています。

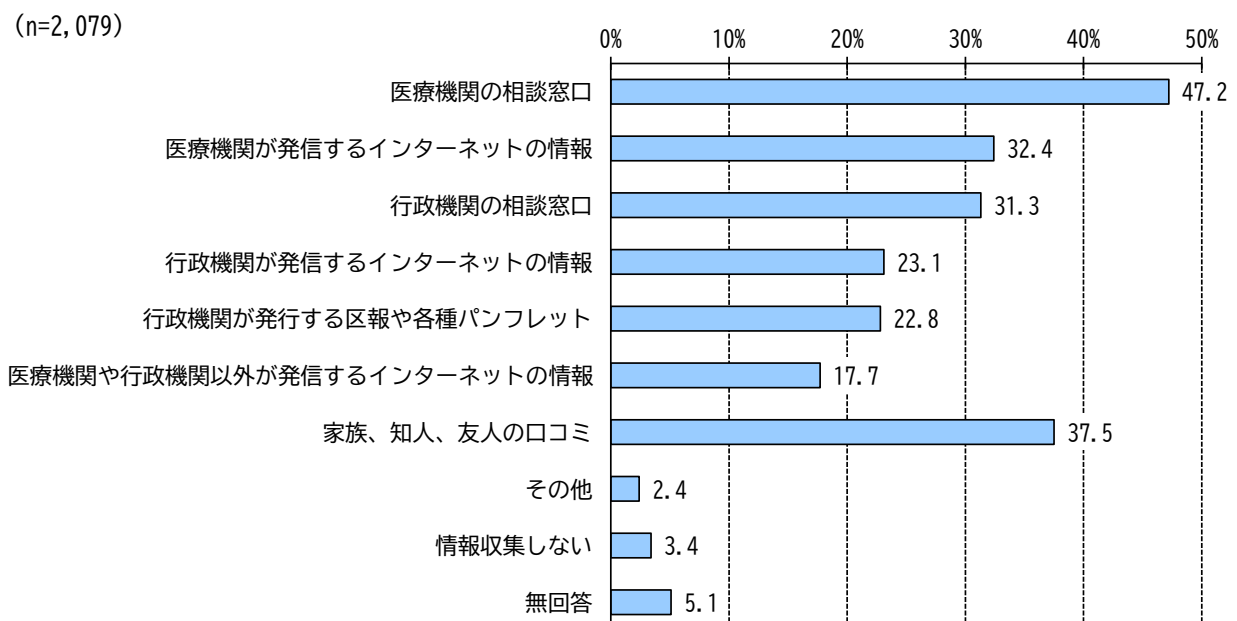
<複数回答>



問57 認知症について知りたいと思ったとき、どのような方法で情報を収集しますか。

○ 「医療機関の相談窓口」が47.2%で最も多く、次いで「家族、知人、友人の口コミ」が37.5%、「医療機関が発信するインターネットの情報」が32.4%となっています。

<複数回答>

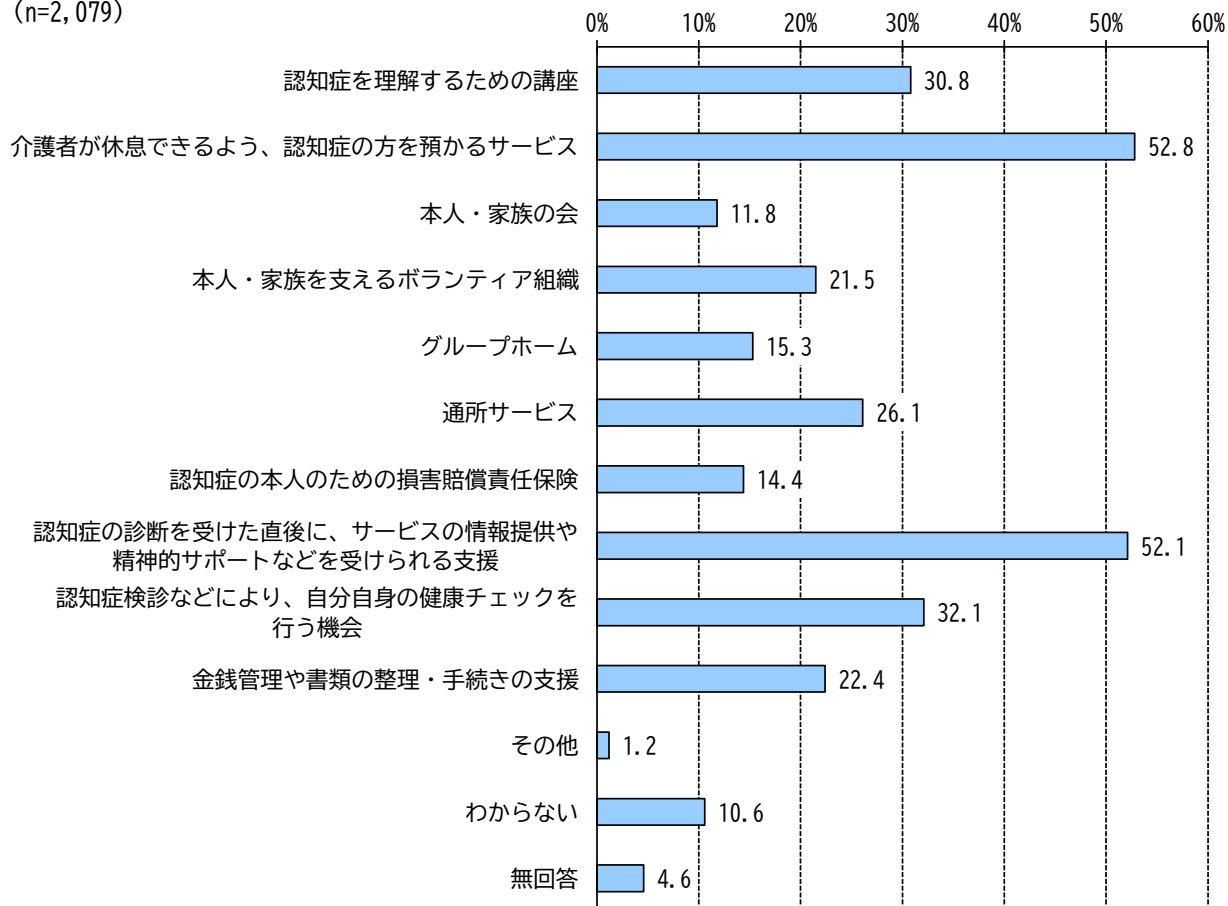


問58 認知症の本人や家族への支援として必要と感じるものは何ですか。

○ 「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が52.8%で最も多く、次いで「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」が52.1%、「認知症検診などにより、自分自身の健康チェックを行う機会」が32.1%となっています。

<複数回答>

(n=2,079)



10. 区の高齢者施策

問59 あなたが安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために、区に力を入れてほしい高齢者施策はどんなことですか。

○ 「健康管理、介護予防」が37.1%で最も多く、次いで「在宅医療・介護」が36.7%、「認知症高齢者に対する支援」が36.0%となっています。

<複数回答／5つ以内>

